Pioneer sound.vision.soul

コードレス留守番

システム名

TF－VD1100/VD1130/VD1140

取扱説明書

（保証書付）

このたびは、パイオニアのコードレス留守番電話機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。

お買い上げ時、本機は携帯通話プリセット機能が「ON」(使用する)に設定されています。
「ひかり電話」、IP電話などをご利用の場合は、電話をかけられない場合があります。本機能をご利用にならない場合は、設定を「OFF」(解除) にしてください。(くわしくは、29～30ページをご覧ください。)

NTTへのサービス申し込みが必要です。(有料)
お買い上げ時、本機はナンバー・ディスプレイが「ON」(使用する)に設定されています。

充電池には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

Ni-MH

お客様相談室 本製品のお問い合わせ窓口

東日本地区：TEL. 所沢 04-2949-5131
西日本地区：TEL. 大阪 06-6533-0099
専用FAX：所沢 04-2949-5501

- 電話番号をよくご確認の上、市外局番より、お間違えのないようおかけください。
- 名称、所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

英文などの外国語の取扱説明書はありませんので、あらかじめご了承ください。
Please take notice that manuals written in languages other than Japanese are not available.

さくいん

ご注意　NOTICE
この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。
海外では、電話回線や電源電圧の規格が異なりますので、ご使用になれません。
For Japanese standard only. This set operates on AC100V.
Due to different standards of telephone line and different power requirements, this set cannot be used outside of Japan.

目　次

準　備

かける／受ける

ホームテレホン

留守番機能

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

ドアホン

必要なときは

困ったときは

機能の設定を変える

アフターサービスについて

安全上のご注意――必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で案内しています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して誤った取扱をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠警告	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

■下記の ⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。

■下記の 🚫 記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。

■下記の ❗ や 記号は行動を強制したり指示する内容です。

充電池（ニッケル水素電池）の取扱について

⚠危険

充電池の液もれや、発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがありますので、次のことをしないでください。充電するときや、充電池を使用するときは必ず次のことを守ってください。

- ●指定以外の充電池を使用しない
- ●プラス（＋）、マイナス（－）を逆にして使用しない
- ●本機の子機専用の充電池として使用し、他の機器には使用しない
- ●本機の子機に装着のうえ、専用の充電器で充電し、他の充電器では充電しない
- ●火の中に投入したり、加熱したりしない
- ●分解・改造・ハンダ付けしない
- ●プラス（＋）、マイナス（－）を針金等の金属で接続しない
- ●ふたで充電池コードをはさまない、破損させない

●充電池の“液”が目に入ると危険

失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

●充電池（ニッケル水素電池）の外装チューブをはがしたり、キズをつけない

発煙・発火の原因となります。

●異臭を発したり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、機器から充電池を取り出し、使用を中止する

充電池（ニッケル水素電池）の取扱について（つづき）

⚠警告

●水や海水につけたり濡らさない
充電池の発熱やサビの原因となります。

●充電池の"液"が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す
皮膚に障害をおこすおそれがあります。

⚠注意

●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
充電池の液もれ、発熱・破裂させる原因となることがあります。

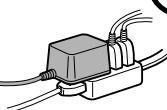
●充電温度範囲は、5～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれ、発熱、充電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

●高温になる場所で使用したり、放置したりしない
充電池の液もれ、性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

●充電池は（乳）幼児の手の届かない所に保管し、（乳）幼児が機器から取り出さないように注意する

ACアダプターの取扱について

⚠警告

●タコ足配線はしない、また、ホットカーペットや床暖房の上に置かない
火災・過熱の原因となります。

●濡れた手でACアダプターにさわらない
感電の原因となります。

●電源電圧（AC100V）以外では使用しない

●付属以外のACアダプターは使用しない

火災・感電・故障の原因となります。

●雷が鳴り出したら、安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜く

●ACアダプターの刃や周辺に付着したほこりや金属などを取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしない

万一、コードが傷んだときは（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

ACアダプターの取扱について（つづき）

⚠注意

●熱でコードの被覆が溶ける原因になるので、ACアダプターのコードをストーブなどの熱器具に近づけない

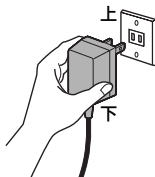
●発熱の原因になるので、ACアダプターはゆるみのあるコンセントに差し込まない

●コードを傷める原因になるので、ACアダプターを抜くときは必ず本体を持って抜く

火災・感電の原因となることがあります。

●ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となることがあります。また、ACアダプターの刃に触れると感電の原因となることがあります。

なお、壁面にあるコンセントにはACアダプターの上下を逆に差し込まないでください。（逆に差し込むと外れやすくなります。）

●ACアダプターのほこりなどは、乾いた布で定期的にとる

プラグなどにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。

本体の取扱について

⚠警告

●ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しない

家庭用電話機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

●煙が出たり、変なにおいがするときはACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

●分解・改造しない
（改造は法律により禁止されています。）

●開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない

万一、入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

●風呂やシャワー室では使用しない

火災・感電・故障の原因となります。

●本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない、水をこぼさない、小さな金属を中に入れない

●水などで濡らさない

本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入ったときはACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

本体の取扱について（つづき）

⚠警告

●充電端子に水滴がついたまま充電しない

水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。そのまま使用すると火災・故障の原因となります。

●次のような場所や条件で使用しない（本機の電波で、誤作動による事故の原因となることがあります。）

■病院内などの使用を禁止された場所
■医用電気機器に近い場所
（手術室・集中治療室・CCU※など）
※CCU…冠状動脈疾患監視病室
■自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
■心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置

⚠注意

次のような場所に設置しない

●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ

●湿気やほこりの多いところ

火災・感電・故障の原因となることがあります。

●直射日光の当たるところ

●ホットカーペットや床暖房の上

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

故障の原因となることがあります。

●極端に寒いところや暑いところ、急激な温度変化のあるところ

故障の原因となることがあります。

●不安定な場所や振動の多いところ

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。

その他

●壁掛けにするときは落下しないようにしっかり固定する

落下すると、けが・故障の原因となることがあります。

●受話器の受話部や子機のレシーバー・スピーカーに吸着物がないか確認してから使う

受話器の受話部や子機のレシーバー・スピーカーの磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し思わぬけがをすることがあります。また、音が出ないなどの故障の原因となることがあります。

●子機の呼出音が鳴る部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけない（突然呼出音が鳴ります。）

●長期間電話機を使用しないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、子機の充電池を外す

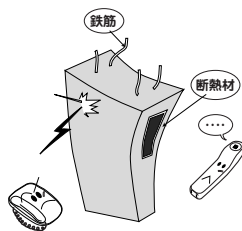
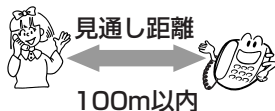
知っておいていただきたいこと

子機の使用について

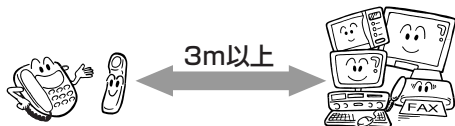
●充電端子の汚れは乾いた布や綿棒などでこまめに拭く
→ 充電不足の原因になります。

●盗聴にご注意
→デジタル信号を使用しているため、盗聴されにくい仕様になっておりますが、機密を要する重要な通話は親機を使用することをお勧めします。

●見通し距離100m以内
→あらかじめ親機と子機の内線通話で電波の届く範囲をご確認ください。電波が届かないと警告音が鳴り、約20秒後に子機の通話が切れ、液晶画面に「オヤキ　サーチチュウ」(または「ツウワ　ケンガイ」)と「圏外」を表示します。その表示以後は、その通話が終わるまで保留転送／子機間転送(40ページ)の機能などを利用することができなくなります。

●電波が届きにくいときは親機に近づくか場所を変える
→子機の通話がとぎれたり、雑音の原因になります。
〈電波を届きにくくするもの〉
鉄筋、鉄骨を使用した建物や構造物、コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材、金属製の壁や家具など

音声のとぎれや雑音を避けるために

以下の機器と相互に影響を及ぼす場合は3m以上離すか、電源を別のコンセントに接続する

●ファクシミリ・電子レンジ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー・パソコンなど
・磁気や蛍光灯など→子機の通話がとぎれる原因になります。
・テレビ・ラジオなど→雑音や画面が乱れるなど受信障害の原因になります。
・AV･OA機器など→子機の呼出音が鳴らないことがあります。
・他の機器(携帯電話など)の充電器やACアダプターなど
→子機の通話がとぎれたり、呼出音が鳴らないことがあります。

ファクシミリ・電子レンジ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー・パソコンなど

● 一つの部屋にデジタルコードレスホン(親機)を複数設置しない。
・子機の通話がとぎれる原因になります。

● 子機は中央部より下の部分を持って通話する。
・子機の上部にアンテナが内蔵されていますので、そこを握ると、電波の飛びが悪くなる場合があります。

● 補聴器によっては子機の通話に雑音が入ることがあります。聞きとりにくいときは、親機をお使いください。

● 動きながら通話したり、近くを自動車やバイクが通ると声がとぎれたり雑音が入ることがあります。

電波について

本機の子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH－SS方式」、
与干渉距離は80mです。
本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のためのパーティションの設置や設置場所の移動を行ない互いに干渉が起きないようにしてください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様相談室（89ページ）へお問い合わせください。

その他のご注意

本機の子機は、2.4GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- 親機は電子レンジなどから離して設置し（目安：約3m以上）、子機も電子レンジなどの近くで使わないでください。
  →電子レンジなどを使用中に、近くで子機を使用したり、親機と子機の間に電子レンジがあると、通話がとぎれたり、使えなくなることがあります。
- 親機や子機を、無線LANからなるべく離してご使用ください。
  →無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で子機を使うと、通話がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。（本機は、子機で通話していない場合でも、電波を送信しています。）
- その他、下記の機器でも、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。なるべく、設置場所や使用場所を離してください。
  →これらの機器の周辺では、声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

・火災報知器	・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
・工場や倉庫などの物流管理システム	・鉄道車両や緊急車両の識別システム
・マイクロ波治療器	・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・自動ドア	・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
・自動制御機器	・その他、Bluetooth™対応機器やVICS
・アマチュア無線局	（道路交通網システム）など

- 本機に関するお問い合わせおよびサポート、取扱説明書の掲載内容につきましては、国内限定とさせていただきます。
- 商品の故障、誤作動または停電などの外部要因で電話が使えなかったことによる付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご承知おきください。

操作に関するご注意

- 登録や設定などの操作を途中でやめるには、親機で操作中は 再生/停止、子機で操作中は 切 を押してください。
- 登録や設定の操作の途中で1分以上操作をしないと通常状態に戻ります。
- 子機の液晶画面のバックライトは、最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。
- 子機の呼出音は親機より約1～2秒遅れて鳴ります。
- 子機が充電器上にあるときに や 文字 内線/保留 を押しても、機能は、はたらきません。
- 子機を充電器からとってそのまま放置すると、転倒などの誤動作防止のための警告音が鳴り、そのあと約20秒後に通常状態に戻ります。
- 増設子機の登録操作は途中で止めることができません。約30秒間お待ちください。

ご使用にあたってのお願い

本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡していただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要となります。**くわしくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

本機を廃棄・譲渡・返却するとき

本機（親機とすべての子機）は、お客様固有の情報（登録した内容や録音した内容など）を保持可能な商品です。本機内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本機を廃棄・譲渡・返却するときは、個人情報保護の観点から親機とすべての子機で初期化の操作を必ず行なってください。
すべての設定（呼出音量、呼出音選択など）および登録されている内容（短縮ダイヤルや電話帳の登録内容、名称登録など）が、お買い上げ時の状態に戻ります。

親機を初期化するには

1 機能 押して ⑤ 押す

2 キャッチ/消去 押す

3 機能 押す

▶ 初期化が終わると、数秒後に電話回線の自動設定が始まる。

子機を初期化するには

■子機ごとに操作する。

1 機能 戻る 押し、

 または で“ショキカ”を選び、

電話帳/決定 押す

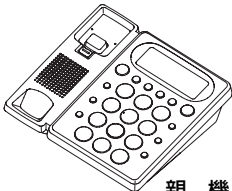
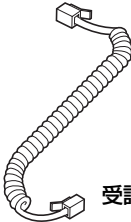
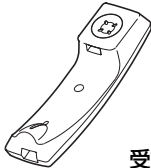
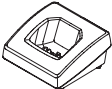
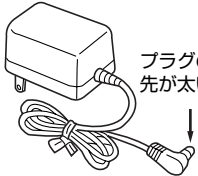
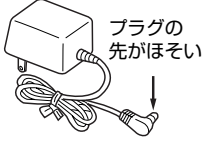
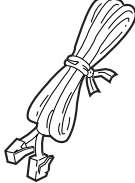
- “ショキカ　シマスカ？”と表示される

2 電話帳/決定 押す

カイシ シマスカ?
YES=[ケッテイ]

3 もう一度 電話帳/決定 押す

ショキカチュウ

▶ 初期化が終わると、通常状態の画面に戻る。

■ 初期化中は、電話をかけたり受けたりすることはできない。
■ 初期化中は、他の子機や親機を使用しない。
■ 初期化操作は、親機やすべての子機が通電している通常状態で、子機が通話圏内にあることを確認してから行なう。
（これ以外の状態で初期化操作を行なうと、初期化前に登録していた名称が消えずに残るなど、初期化後正常に動作しない場合がある。その場合は親機と子機の状態を確認し、再度手順1からやり直す。）

商品の確認

■本体（一式）

親　機
（1台）

受話器コード
（1本）

子機
（TF-VD1100の場合：1台）
（TF-VD1130の場合：2台）
（TF-VD1140の場合：3台）

専用充電池TF-BT10 （ニッケル水素電池）

（TF-VD1100の場合：1個）
（TF-VD1130の場合：2個）
（TF-VD1140の場合：3個）

受話器
（1個）

充電池ぶた
（TF-VD1100の場合：1個）
（TF-VD1130の場合：2個）
（TF-VD1140の場合：3個）

充電器
（TF-VD1100の場合：1台）
（TF-VD1130の場合：2台）
（TF-VD1140の場合：3台）

■付属品

親機用ACアダプター　VT-14
（1個）（コード　約1.8m）

子機用ACアダプター　VT-16
（コード　約1.8m）
（TF-VD1100の場合：1個）
（TF-VD1130の場合：2個）
（TF-VD1140の場合：3個）

電話機コード
（1本）
（約1.5m）

壁掛けネジ
（充電器用）
（TF-VD1100の場合：2個入り1袋）
（TF-VD1130の場合：4個入り1袋）
（TF-VD1140の場合：6個入り1袋）

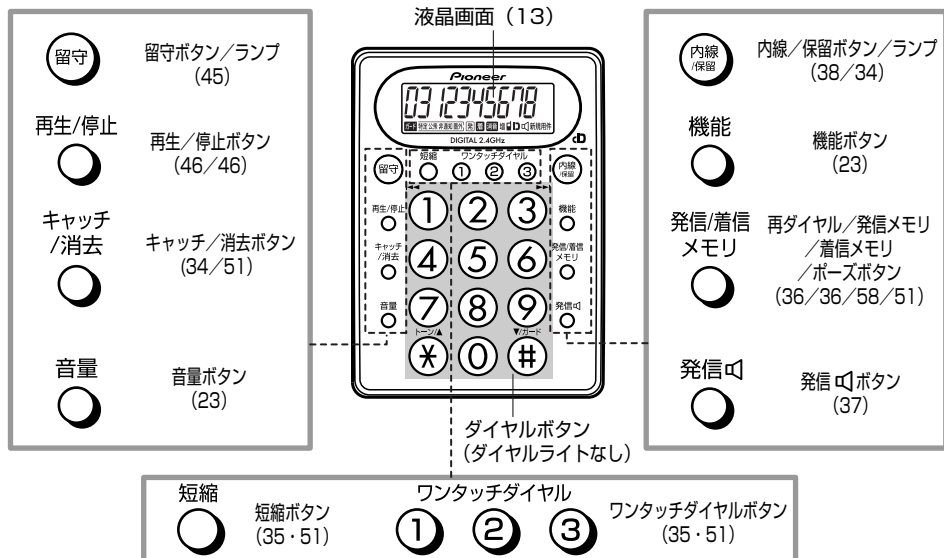
- 取扱説明書（1部）

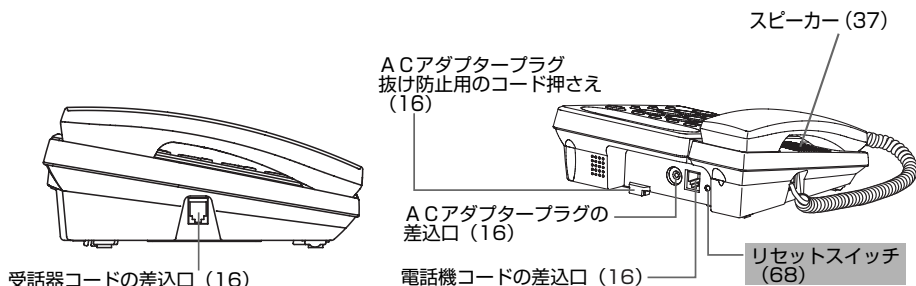
さらに別売の専用子機を増設できます（付属の子機を含めて4台まで）

増設子機（別売品TF-DK110）

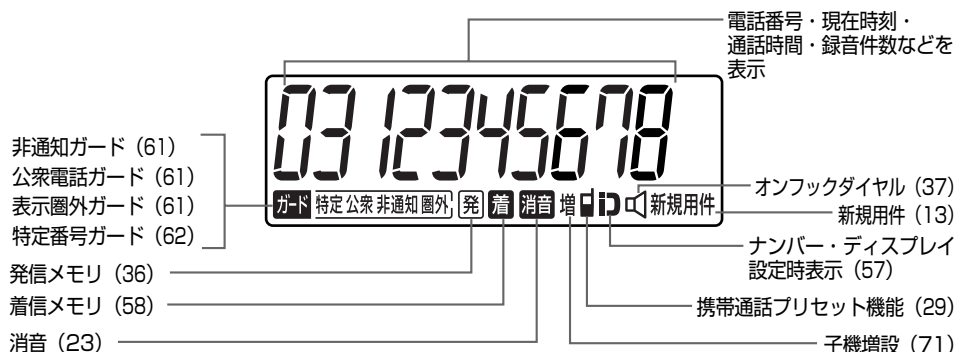
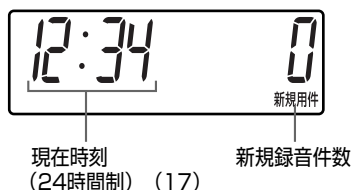
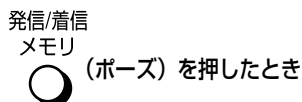
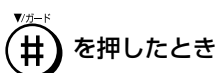
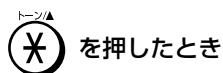
- 増設子機は、販売店でお買い求めください。
- 増設子機は、ご使用まえに増設子機の登録操作が必要です。（71ページ）
  この操作には、必ず親機と子機が必要です。修理窓口にご依頼の場合、有料になります。
- TF-VD1100に子機を増設すると、子機間通話、子機間転送、一斉呼出、子機から子機への電話帳コピーができます。
- PHS電話機を子機として増設することはできません。

親機

（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

■点灯するボタンの種類とランプのつき方（例）

ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
留守ボタン	オレンジ	留守セット中＜未再生の用件なし＞（点灯） 留守セット中＜未再生の用件あり＞（点滅）
内線／保留ボタン	オレンジ	内線通話中（点灯） 内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）

● 電話回線種別（ダイヤル回線⇄プッシュ回線）の切りかえスイッチはありません。電話機コードを接続すると、回線種別が自動的に選ばれ設定されます。電話機を移動したり、回線種別を変更（ダイヤル回線⇄プッシュ回線）したときは、再度電話回線の設定をしてください。（20ページ）

親機（11桁表示）（液晶バックライトなし）

●説明のために液晶表示のマークを全表示しています。

操作時の表示例

数字以外をダイヤルしたときの表示例

■子機が外線通話中、およびドアホン通話中は、液晶画面に「LINE IN USE」「door IN USE」と表示されます。なお、このとき登録・設定操作をしても、操作できない場合があります。液晶画面が通常状態に戻ってから、操作してください。

■この取扱説明書の説明画面は、実際の画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。

■実際の画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。

■設定の途中で設定操作を中止した場合、設定変更内容は反映されません。

■電話番号の確認画面（短縮ダイヤル、発信メモリ、着信メモリなど）で、液晶画面に一度に表示できる桁数（11桁）を超えた場合は、自動的に画面を切りかえて表示します。

各部のなまえ／液晶画面（子機）

（子機）

子機

（　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

上下左右ボタン（17）

電話帳／決定ボタン（54／17）

再ダイヤル／発信メモリ／ポーズボタン（36／36／54）

着信メモリボタン（58）

キャッチ／消去ボタン（34／52）

（発信）ボタン（34）

機能／戻るボタン（17）

切ボタン（17）

ハンズフリーボタン（37）

ガードボタン（60）

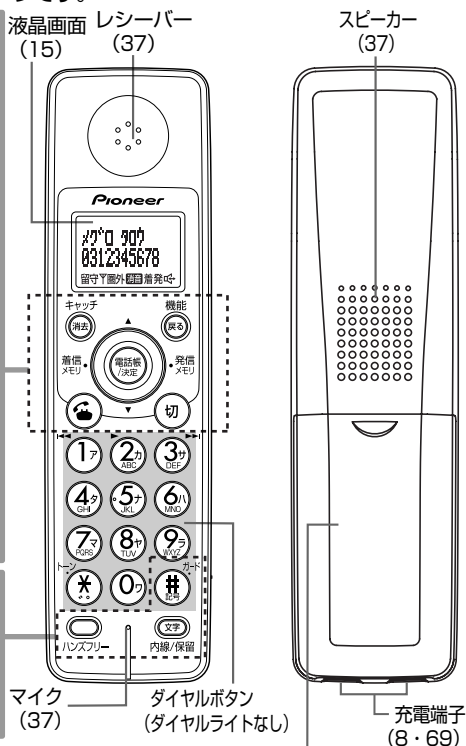
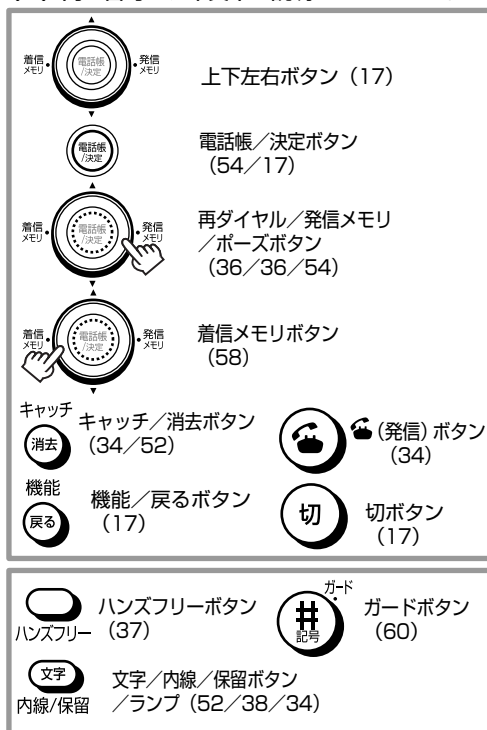
文字／内線／保留ボタン／ランプ（52／38／34）

液晶画面（15）

レシーバー（37）

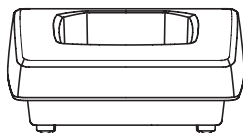
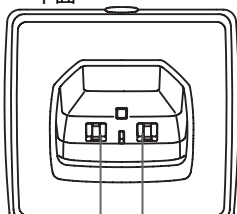
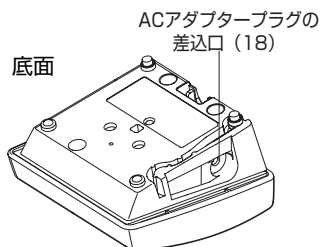
スピーカー（37）

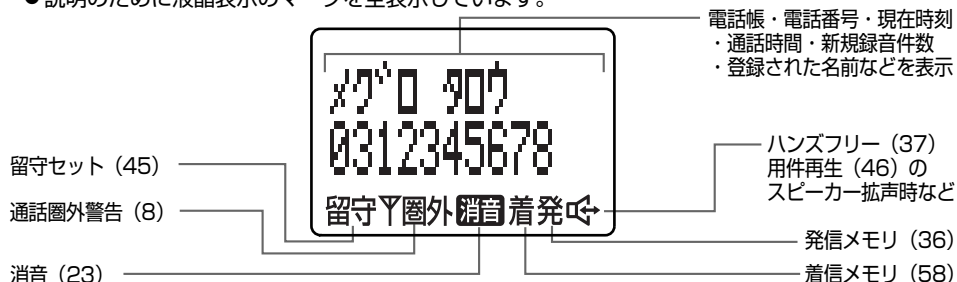
マイク（37）

ダイヤルボタン（ダイヤルライトなし）

充電端子（8・69）

充電池ぶた（18・70）

■点灯するボタンの種類とランプのつき方（例）

ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
発信ボタン	赤	通話中（点灯）、 保留中・子機を充電器からとったとき<クイック通話ON>（点滅）
	緑	充電中（点灯）、 外線着信中・内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）
文字／内線／保留ボタン	緑	内線通話中（点灯）、内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）

子機（12桁表示）（液晶バックライト付き）

●説明のために液晶表示のマークを全表示しています。

■液晶画面のバックライトは、省電力のため通話中であっても、最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。

●操作時の表示例

通常状態1と2は、新規用件の有無により自動的に変わります。選択することはできません。
（通常状態のときは液晶バックライトが消えています。）

通常状態1 (新規用件が録音されていない場合)	通常状態2 (新規用件が録音されている場合)	ダイヤル中
日時／現在時刻（24時間制)(19) 12月24日 12:34 ﾀﾛｳ 留守 登録された名前（19）	12月24日 12:34 ｼﾝｷ ﾖｳｹﾝ 8ｹﾝ 留守 新たに録音された用件の数	※通話時間はあくまでも目安としてご使用ください。 0' 10 0312345678 留守 通話時間※　電話番号

■親機または他の子機が外線通話中（または親機がガード機能（61～62ページ）で応答中）およびドアホン通話中は、液晶画面に親機は「LINE IN USE」「door IN USE」、子機は「カイセン　シヨウチュウ」「ドアホン　シヨウチュウ」と表示されます。なお、このときに登録・設定操作をしても、操作できない場合があります。液晶画面が通常状態に戻ってから、操作してください。

■この取扱説明書の説明画面は、実際の画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。

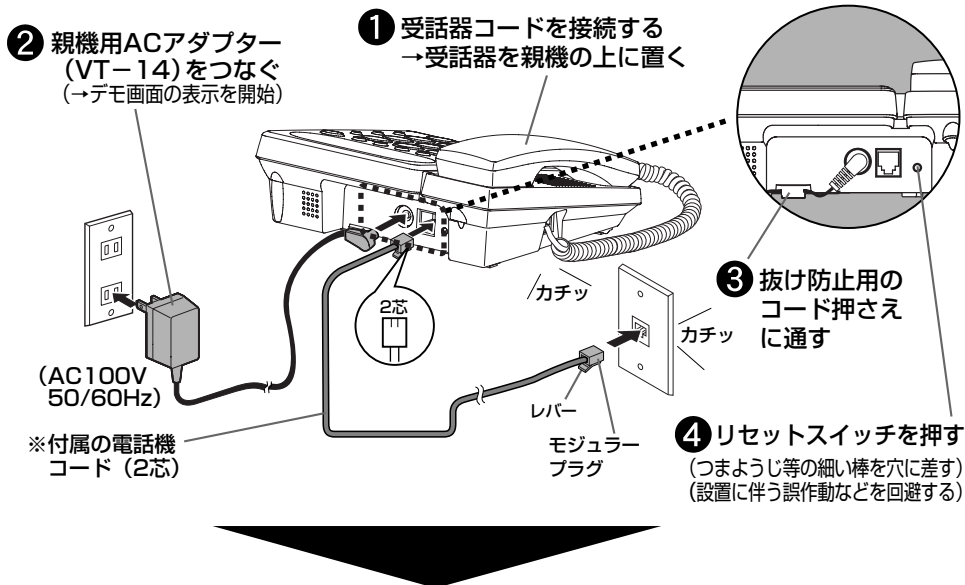
■実際の画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。

■設定の途中で設定操作を中止した場合、設定変更内容は反映されません。
そのときは、はじめからやり直してください。（増設子機の登録操作（71ページ）は親機の操作終了後、約30秒以内に子機の操作を完了させてください。）

■電話番号の確認画面（電話帳、発信メモリ、着信メモリなど）で液晶画面に一度に表示できる桁数（12桁）を超えた場合は、自動的に画面を切りかえて表示します。

■液晶画面に「ツウワ　ケンガイ」と「圏外」が表示されているときは、親機に近づいてください。表示が消えないときは、（通話）、文字 内線/保留、または ハンズフリー のいずれかを押してください。
（親機の電源が入っていても、子機が親機から離れすぎたり使用環境によっては、「ツウワ　ケンガイ」と「圏外」が表示されることがあります。）

親機の準備

受話器コード・ACアダプター・電話機コードを接続する

❺ 電話機コードを接続すると

約5秒後、電話回線の自動設定が始まる
（→デモ画面が止まる）
▶
約6～40秒後、設定された回線を液晶画面で知らせる

■ 自動設定できなかったとき→手動で回線種別を設定する（20ページ）
■ 電話がかけられなかったとき→（20ページ）
■ ADSL、ISDNに接続するとき→（21ページ）
■ ファクシミリに接続するとき →（22ページ）

❻ 天気予報（177）（有料）にダイヤルして、電話がかけられることを確認する

下記の接続方式の場合は、最寄りのNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

おしらせ

- ファクシミリやＯＡ機器や冷蔵庫などの電源コンセントと同じコンセントにはつながないでください。雑音や誤動作の原因となります。
- ＡＣアダプターは常に接続しておいてください。ＡＣアダプターを接続しておかないと子機は使用できません。また、親機の登録操作や留守番機能などが使用できません。
- ＡＣアダプターや親機の底は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。

現在の日付・時刻を登録します。
本機の時計は、電源が入ると自動的に2006年1月1日午前0時から動き始めます。
親機の着信メモリの日時は、ここで設定する時計をもとに記録されます。

■ 親機の時計を合わせるには、子機から操作します。

西暦・日付・時刻を登録するには

■ 子機を2台以上お使いのときは、いずれかの子機で行なう。

1 機能 戻る 押し、

または で“オヤキ　ニチジ”を選び、

電話帳/決定 押す

2 年月日と時刻（24時間制）を入力する

2006年
10月24日 19:05

（例）

西暦（2桁）　日付（4桁）　時刻（4桁）

● 修正するときは、カーソルを移動させて入力し直す。

3 電話帳/決定 押す

4 切 押す

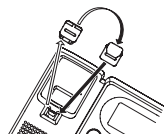
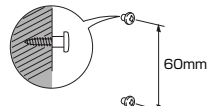
■ 確認するときは、手順1を行ない、切 を押す。

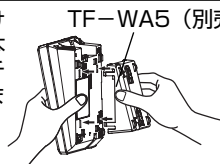
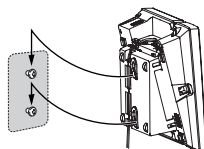
おしらせ

● 西暦は2000年から2099年まで設定できます。
● 現在日時と誤差が生じた場合は、日時を登録し直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
● タイムスタンプ（45ページ）の日時は、親機で保持している時計をもとに記録されます。

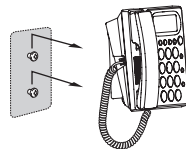
親機を壁に取り付ける場合には、別売の壁掛けアダプターTF-WA5が必要です。
希望小売価格　525円（税抜価格　500円）
（希望小売価格は平成18年6月現在の価格です。）

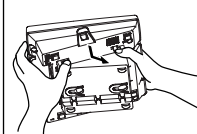
壁掛けにするときは

1 壁掛け用フックを差し替えてツメを出す

2 このページの右側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて取り付ける

3 本体底面に壁掛けアダプターの4本のツメを「カチッ」と音がするまで押し込む

TF－WA5（別売）

4 ACアダプターと電話機コードを図のように処理し、壁掛けアダプター底面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

壁掛け用取付寸法
親機60ミリ

壁から取り外すときは

上方に引き上げてから取り外す

壁掛けアダプターを取り外すときは

側面の2本のツメを押しながら外す

お願い

● 親機を幅の狭い柱などに取り付けるときは、板などをご利用されると安定してお使いいただけます。

子機の準備

1 子機に充電池（ニッケル水素電池）をセットする

❶ プラグを差し込み、充電池を入れる

赤 黒

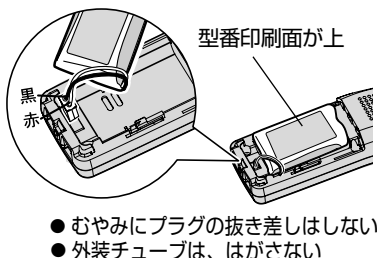
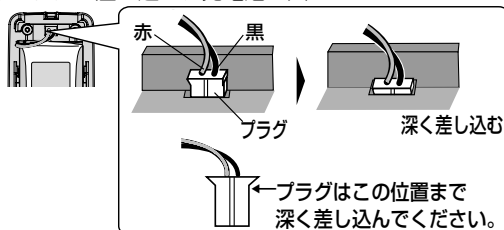
プラグ

深く差し込む

←プラグはこの位置まで深く差し込んでください。

型番印刷面が上

黒 赤

● むやみにプラグの抜き差しはしない
● 外装チューブは、はがさない

❷ 充電池ぶたを閉める（コードをふたで、はさまないように。）

① 約5mmあけた状態にする

② 充電池ぶたを子機に均等に密着させる

③ 密着させたまま、充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて閉める

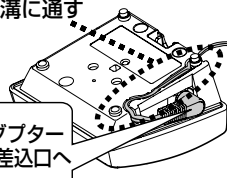
右図のようにつめの先端を合わせると、約5mmあいた状態になる

すき間がないように

充電池ぶたはしっかり閉じる

2 子機を充電する

❶ 子機用ACアダプターを接続する → 子機用ACアダプターのコードを溝に通す

❷ 子機を置き、10時間以上、充電する

■ 充電池（ニッケル水素電池）が完全に消耗していて、子機を充電器にのせてもすぐに点灯しない。
→約10分間、充電器に置いたままにする。
・充電しても液晶画面に何も表示されないときや、発信ランプが緑点灯しないときは、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻す。

■ 必ず、親機を通電状態にしたあとで、通話圏内で充電する。
・「ツウワ　ケンガイ」（または「オヤキ　サーチチュウ」）と「圏外」が表示されているときは、通常よりも充電に時間がかかる。

使用時間について	待ち受け時間	約180時間	連続通話時間	約6時間

- 充電が完了しても発信ランプは緑点灯し続けます。
- 充電し続けても故障することはありません。
- 子機をお使いのあとは、必ず充電器に戻してください。戻さないと、まったく使わなくても充電池（ニッケル水素電池）は徐々に消耗します。

子機の要充電表示について

充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、子機は使用できなくなります。

（1）充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、液晶画面に「デンチザンリョウガ　アリマセン」と表示されます。電話がかかってきても呼出音は鳴りません。また、電話にでることもできません。（なお、子機が充電器にあるときに液晶画面が通常状態に戻れば、子機を使用することができます。）

（2）通話中に充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、「ピピピ…ピピピ…」と警告音が鳴り、電話が切れます。

充電池には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

現在の日付・時刻を登録します。
本機の時計は、電源が入ると自動的に2006年1月1日午前0時から動きます。
子機の着信メモリの日時は、ここで設定する時計をもとに記録されます。

西暦・日付・時刻を登録するには

■ 子機ごとに操作する。

1 機能（戻る）押し、
または で“コキ　ニチジ”を選び、
（電話帳/決定）押す

2 年月日と時刻（24時間制）を入力する

2006年
10月24日 19:05

（例）
0 6 1 0 2 4 1 9 0 5

西暦（2桁）　日付（4桁）　時刻（4桁）

- 修正するときは、カーソルを移動させて入力し直す。

3 （電話帳/決定）押す

4 （切）押す

おしらせ

- 西暦は2000年から2099年まで設定できます。
- 現在日時と誤差が生じた場合は、日時を登録し直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）

あらかじめ登録しておくと、内線電話をかけたときに、受け手の液晶画面に名前を表示することができます。
お買い上げ時は「コキ（1）」（「コキ（2）」…）と登録されています。

名前を登録するには（名称登録）

■ 子機ごとに操作する。

1 機能（戻る）押し、
または で“メイショウトウロク”を選び、
（電話帳/決定）押す

2 キャッチ（消去）2秒以上押し続けて現在の登録内容を消去する

3 名称を入力し（最大10文字）、
（電話帳/決定）押す

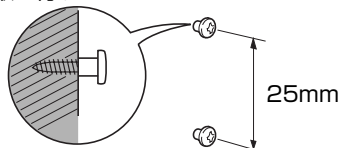
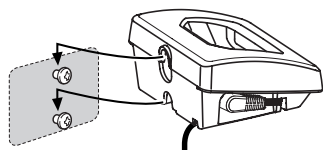
コキメイショウ？［ア］
ハナコ

- 文字入力のしかた
（52～53ページ）

■ 名称を変えるときは、はじめからやり直す。
■ それぞれの子機の名称は、異なる名称を登録する。

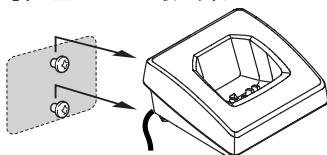
子機の準備（つづき）（子機）

充電器を壁に取り付けるときは

1 このページの左側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて、付属の壁掛け用ネジを取り付ける

2 ACアダプターのコードを図のように処理してから、充電器背面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

■ ネジがゆるんでいると、子機を充電することができない場合があります。

充電器を壁から取り外すときは

上方に引き上げてから取り外す

注意

- 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付け・設置してください。
  落下のおそれがあり、けがの原因となることがあります。
- ベニヤ板などの薄い板壁やボード板（石こう板）には取り付けないでください。落下のおそれがあり危険です。

壁掛け用取付寸法

充電器25ミリ

お使いになる前の準備

自動で回線種別を判定できなかったときは、プッシュ回線かダイヤル回線かを手動で設定してください。

電話回線の種別を設定するには

親機のACアダプターおよび電話機コードを接続後

1 子機の 戻る（機能） 押し、

または で"デンワカイセン"を選び、

電話帳/決定 押す

2 電話帳/決定 押す

カイセンシュベツ
◆プッシュ

- 現在の設定が表示される。

3 または で回線種別を選び、

電話帳/決定 押す

- プッシュ回線のとき"プッシュ"
  ダイヤル回線（10PPS）のとき"10PPS"
  ダイヤル回線（20PPS）のとき"20PPS"
- 回線自動選択を利用するときは"ジドウセンタク"を選ぶ。

4 切 押す

■ 回線種別を設定後、177（天気予報）（有料）に電話をかけて、電話がかかるか確認する。（かけられないときは手順1からやり直して、手順3で回線の種別を変える。）

■ 電話回線の設定は、子機で設定すると、親機や子機で利用することができる。

■ 下記のような移動・変更（以前の電話回線から変わった）などにより、電話がかけられない場合は、回線種別を設定し直す。
- ・電話回線の種別をダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線に変更したとき
- ・ISDN回線、ADSL回線に変更したとき
- ・引越などで、電話機を別の場所に移動したとき

■ 回線種別で自動選択をはたらかせても、回線種別が正しく選べず（下記のような場合）、電話がかけられない場合は、電話回線を手動設定で設定する。（20ページ）

- ●スプリッタ 一体型ADSLモデムなどのADSL関連機器につないだとき
- ●パワードコム（東京電話）／QTNet（九州電話）アダプターにつないだとき
- ●LCR／ACR用アダプターにつないだとき
- ●ファクシミリにつないだとき
- ●ホームテレホンや構内交換機（PBX）などの内線電話番号としてお使いになるとき
- ●電話回線の事情などで合わないとき

■「直収電話サービス」とは
NTTの回線を経由しないで、直接お客様とサービス事業者間を結ぶ電話サービスのこと。（例：KDDIのメタルプラス、日本テレコムのおとくラインなど）

ADSLをご利用の場合は

■ 電話機での通話の声が大きくなりすぎる場合は、「スプリッタ・TA設定」（86ページ）を行なってください。

■ 困ったときは

- ●電話をかけられない（フリーダイヤル、天気予報など）
  →回線を手動で設定する（20ページ）
- ●音量が小さい、雑音が多い
- ●ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号が表示されない
- ●携帯電話に電話をかけると、相手に「非通知」と表示される

本機を電話機コンセントに直接つないで確認し、正常の場合は、ADSLの事業者に相談する。

NTTのISDN回線をご利用の場合は

■ 電話機での通話の声が大きくなりすぎる場合は、「スプリッタ・TA設定」（86ページ）を行なってください。

■ 接続したら回線種別の設定を「プッシュ」にする（20ページ）

■ こんなときはTAの取扱説明書をお読みください

- ●i・ナンバー、ダイヤルインを利用する（本機にはダイヤルインの機能はありません）
- ●ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンを利用する
- ●携帯電話に電話をかけられない、受けられない・相手が切っても呼出音が鳴り続ける。（リバース[極性切替]スイッチ と DSUを切り離すスイッチを確認する）

おしらせ

- ● 接続についての詳細は、ご利用のパソコン、ADSLモデム、スプリッタ、TAなどに付属の各取扱説明書をお読みください。
- ● 一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては下記のような症状が発生する場合があります。
  - ・電話に雑音が入ることがあります。その場合は各ADSLサービス会社へご相談ください。
  - ・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話・PHSに発信した場合は「非通知」になる場合があります。
  - ・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990、186、184、122などをつけた場合、また110、119、177、117などの番号にかけたときに、電話がかからない（つながらない）などの現象が発生することがあります。このようなときは、NTTとご契約されている回線種別と電話機の回線設定が合っているかを確認してください。（20ページ）
    合っている場合は、各ADSLサービス会社へお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

- 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の機器は1台しかつなげません。2台以上の電話機をつなげてそのままお使いの場合、電話番号が表示されなかったり、かかってきた電話をとることができないなどの原因となることがあります。
  2台以上お使いのときは、本機以外の機器（電話機やファクシミリなど）のナンバー・ディスプレイが**機能しないように**設定してください。

相手が電話をかけると

他の電話機	本　機
短い間隔の呼出音が鳴る ● 受話器をとらないでください。もし、受話器をとったときは、すぐに戻してください。 受話器をとったままにすると、相手の方は「ツーツー」と話し中になります。	**呼出音が鳴らない** ● 液晶画面に「CALL」（親機）、「チャクシン」（子機）が表示されます。 （電話番号などのデータを受信しています。）
↓	↓
通常の呼出音が鳴る ● 受話器をとると、お話しできます。	**呼出音が鳴る** ● 受話器または子機をとると、お話しできます。 ● ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、液晶画面に電話番号などが表示されます。（57ページ）

■他の電話機に留守番機能があるときは、他の電話機の留守番機能がはたらかないようにしてください。

■短い間隔の呼出音で他の電話機が留守応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ機能（57ページ）が使えなくなります。

- **ファクシミリとの接続**
  ファクシミリの機種によっては、本機のナンバー・ディスプレイが表示されない、ファクシミリの受信ができないなど、本機と接続してご利用になれない場合があります。くわしくは、ファクシミリのメーカーにお問い合わせください。
- **ホームテレホン、構内交換機（PBX）との接続**
  ナンバー・ディスプレイ（57ページ）は、ご利用になれません。そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続には、別途工事が必要の場合があります。くわしくは、ホームテレホン、構内交換機（PBX）のメーカーにお問い合わせください。
- **ISDN回線のTAとの接続**
  ナンバー・ディスプレイ対応のTAをお使いください。くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。
  （なお、INSナンバー・ディスプレイをNTTとご契約後、ナンバー・ディスプレイの設定を本機とTAの両方で行なってください。）
  本機で行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定（57ページ）
  TAで行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定
  くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。
- 本機以外にナンバー・ディスプレイ対応のアダプター（表示器）は、お使いにならないでください。
  本機だけでナンバー・ディスプレイ（57ページ）がご利用になれます。

音量を調節する

準備

外線やドアホンからの呼出音の大きさを調節できます。呼出音量は「音量1」から「音量4（特大)」と「消音」（ドアホンを除く）を選択できます。
お買い上げ時は、「音量3」に設定されています。

親機の呼出音量を調節するには

1 音量 押す

2 音量 で好みの音量を選ぶ

00______

3 機能 押す

■ ボタンを押すたびに、

→消音→音量1→音量2→音量3→音量4（特大）

と切りかわる。

♪ワンポイント

親機の手順2で“消音”を設定したあと、留守セット（45ページ）すると、消音留守セットを利用することができます。

■消音留守セット
親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守番録音できます。なお、この場合でも子機の呼出音は鳴ります。

●消音選択中の画面

____

子機の呼出音量を調節するには

1 機能 戻る 押して 電話帳/決定 押す

2 または で“ヨビダシオンリョウ”を選び、電話帳/決定 押す

3 または で好みの音量を選び、電話帳/決定 押す

ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝﾘｮｳ
[█　]

4 切 押す

■ 消音⇄音量1⇄音量2⇄音量3⇄音量4（特大）

と切りかわる。

■消音を設定すると 消音（親機）や 消音（子機）が表示される。
■消音を解除するときは、「音量1」から「音量4（特大)」のいずれかを選ぶ。
■内線の呼出音は、変更することができない。
■ドアホンの呼出音量は、外線着信の呼出音量と同じになる。
ただし、外線着信の呼出音量が消音のときは、「音量1」になる。

音量を調節する（つづき）

留守番に録音された内容を聞くときや、ハンズフリー通話の相手の声などをスピーカーで聞くとき、スピーカー音量を「音量1」から「音量4」まで設定できます。お買い上げ時は「音量3」に設定されています。

親機のスピーカー音量を調節するには

スピーカー拡声中に

音量
押す

■ ボタンを押すたびに、
→ 音量1 → 音量2 → 音量3 → 音量4 ┐（音量1に戻る）
と切りかわる。

子機のスピーカー音量を調節するには

ハンズフリー通話中に

小さくするとき

下を押す

大きくするとき

上を押す

■ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4
と切りかわる。

受話器や子機のレシーバーから聞こえる相手の声などの受話音量を「音量1」から「音量4」まで設定できます。
お買い上げ時は、「音量1」に設定されています。

親機の受話音量を調節するには

受話器で外線通話中に

音量
押す

■ ボタンを押すたびに、
→ 音量1 → 音量2 → 音量3 → 音量4（特大）┐（音量1に戻る）
と切りかわる。

子機の受話音量を調節するには

子機で外線通話中に

小さくするとき

下を押す

大きくするとき

上を押す

■ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4（特大）
と切りかわる。

■ 音量4に設定すると、受話音量が特大になる。（特大受話音量）

■ スピーカー音量や受話音量の設定状態は、液晶画面には表示されないので、音を聞きながら設定する。

夜間呼出音量を設定する

（子機）

外線やドアホンの呼出音量を昼間は通常の音量、就寝時間などは小さな音量（または消音）に、タイマーで毎日、自動的に切りかえることができます。（親機には、この機能はありません。）

■ 夜間呼出音量（「消音、音量1～4、夜間設定なし」から選択）と夜間時間帯の両方を設定してください。
■ お買い上げ時は「夜間時間帯0：00～6：00、夜間設定なし（解除）」に設定されています。
■ 内線通話の呼出音は変えることはできません。

■ 夜間呼出音量の範囲　ショウオン ⇄ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4（特大）⇄ ヤカンセッテイナシ

必ず、子機の時計（19ページ）を合わせてから操作してください。
子機が2台以上あるときは、必ずそれぞれの子機の時計を合わせてください。

動作イメージ図

夜間呼出音量を設定するには

1 子機の 機能 戻る 押して 押す

2 または で“ヤカン　オンリョウ”を選び、電話帳/決定 押す

3 または で好みの音量を選び、電話帳/決定 押す

4 切 押す

夜間時間帯を設定するには

1 子機の 機能 戻る 押して 押す

2 または で“ヤカンジカンセッテイ”を選び、電話帳/決定 押す

3 時間帯（24時間制）を入力する

ヤカンジ゛カンセッテイ
22:50->08:50

（例）

開始時間（4桁）　終了時間（4桁）

- 修正するときは、カーソルを移動させて入力し直す。

4 電話帳/決定 押す

5 切 押す

■ 夜間時間帯のドアホンの呼出音量は、夜間呼出音量と同じ音量で鳴る。夜間時間帯が終わると、通常の呼出音量と同じ音量に戻る。（ただし、消音にはならない。）

■ 夜間呼出音量を消音に設定した場合
- 設定した夜間時間帯に入ると 消音（子機）を表示する。
- ドアホンの呼出音は、音量1で鳴る。
- 消音を解除するときは、「音量1」から「音量4（特大）」または「夜間設定なし」のいずれかを選ぶ。

■ 外から電話がかかってきている途中に、夜間時間帯に入ったとき（または、夜間時間帯が終わったとき）は、呼出音量も同期して、設定した呼出音量に変わる。

■ 時間帯は、開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定することはできない。

呼出音・警告音の種類

（お好みの音に選ぶことができる呼出音）

呼出音が鳴るとき	親機の音	子機の音
外からの電話 （外線着信）	ベル1 <標準>　ルルルル　約2秒　ルルルル お買い上げ時の設定です。他の呼出音にも切りかえられます。（27ページ）	
鳴り分け （外線着信）	ベル1 <標準>　ルルルル　約2秒　ルルルル お買い上げ時、鳴り分けは「OFF」（解除）に設定されています。 この場合、通常の呼出音と同じ呼出音が鳴ります。他に切りかえられます。 （59ページ）	

■鳴り分け（59ページ）は、NTTの「ナンバー・ディスプレイ」（57ページ）にご契約し、本機で設定操作しないと機能は、はたらかない。

■ホームテレホンや構内交換機（PBX）などに接続してご使用の場合は、呼出音が上記のように鳴らないことがある。

（選ぶことができない呼出音）

呼出音が鳴るとき	親機の音	子機の音
内線通話	ピーピーピ　ピーピーピ 約2秒　約2秒	
子機間通話／子機間転送 （子機を2台以上お使いのとき）	――――	ピーピーピ　ピーピーピ 約2秒　約2秒
ドアホン1	「ピポピポピポピポ　ピポピポピポピポ」	
ドアホン2	「ピポピポ　ピポピポ　ピポピポ」	

（設定音・警告音）

設定音・警告音が鳴るとき	親機の音	子機の音
子機で通話中に親機から離れすぎたとき	――――	「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ、ピピピ」
登録・設定が完了したとき	「ピーッ」	
登録・設定ができなかったとき	「ピピピ」	
登録・設定・確認中にそのメニューや選択肢の開始地点（お買い上げ時の設定値）に戻ったとき、またはメニューや選択肢が一巡したとき（呼出音量・呼出音質・鳴り分け・キータッチ音の設定を除く）	「ピピッ」	
通話中に充電池が消耗したとき	――――	「ピピピ・・・ピピピ・・・」

■キータッチ音を「OFF」（解除）にすると（84ページ）、一部完了音や警告音も聞こえなくなる。

呼出音の種類を変える

外からの呼出音を親機は6種類、子機は10種類の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は、親機・子機ともに「ベル1<標準>」に設定されています。

準備

親機の呼出音の種類を変えるには

1 機能 押して 押す

●現在設定されている呼出音が流れる。

2 呼出音の番号を押す
（1～6のいずれか1つ）

（例）“ラデツキー行進曲”のとき

⑥ 押す

●番号を押すたびに、呼出音が流れる。

3 機能 押す

子機の呼出音の種類を変えるには

1 押して 押す

2 電話帳/決定 押す

●現在設定されている呼出音が流れる。

3 または で呼出音を選び、

電話帳/決定 押す

●選ぶたびに、呼出音が流れる。

4 切 押す

●親機の呼出音の種類（6種類）

押すボタン	呼出音	音色
①	ベル１<低音>	単音
②	ベル１<標準>※お買い上げ時	
③	ベル１<高音>	
④	効果音1〈ピロロ〉	
⑤	森のくまさん	3和音
⑥	ラデツキー行進曲	

●子機の呼出音の種類（10種類）

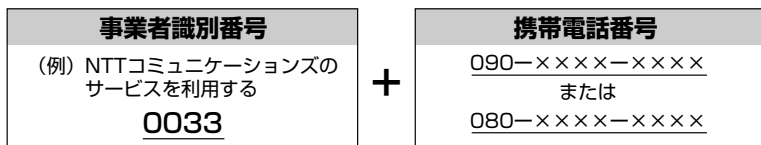
呼出音	音色
ベル１<低音>	単音
ベル１<標準>※お買い上げ時	
ベル１<高音>	
効果音1<ピロロ>	
効果音2	3和音
春～四季より～	
森のくまさん	
華麗なる大円舞曲	
ラデツキー行進曲	
花のワルツ	

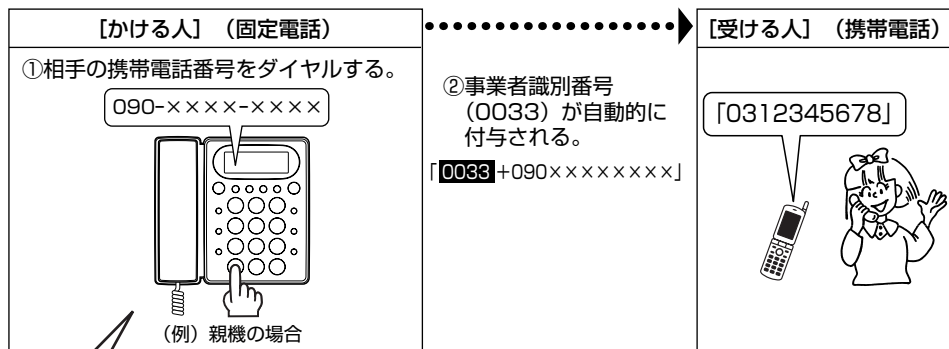
おしらせ

- ●内線通話やドアホンの呼出音の種類を変えることはできません。
- ●選んでいるときの音量は、呼出音量（23ページ）で選んだ大きさです。「消音」を設定しているときは「音量1」で鳴ります。
- ●子機で夜間呼出音量（25ページ）の設定をしていて、夜間時間帯に入ってから手順3の操作をしたときは、設定されている夜間呼出音量でお知らせします。

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、通話料金がおトクになるサービスです。お申し込み手続きは不要です。（2006年6月現在）
通話料金は、固定電話のサービス事業者が設定します。

事業者識別番号		携帯電話番号
（例）NTTコミュニケーションズのサービスを利用する 0033	＋	090ー××××ー×××× または 080ー××××ー××××

※固定電話とは……今までの一般電話のことで、携帯電話やPHSやIP電話などと区別するために用います。

本機の「携帯通話プリセット機能」（29ページ）を設定すると、本機から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に「事業者識別番号（0033など）」が自動的に付与され、固定電話のサービス事業者の設定するおトクな通話料金でかけることができます。

■ 本機の携帯通話プリセット機能（29ページ）は、次の場合も利用できる。
- ・「184」「186」などの番号をつけてかけたとき
  （操作例）
  「184+090－××××－××××」とダイヤルすると、
  184+ 0033 +090－××××－××××のように、0033などが自動的に付与される。
- ・再ダイヤル（36ページ）、発信メモリ（36ページ）からかけ直すとき
  （ただし再ダイヤルや発信メモリには事業者識別番号は記録されない。）
- ・短縮ダイヤル（35ページ）、ワンタッチダイヤル（35ページ）、電話帳（35ページ）からかけるとき
- ・着信メモリ（58ページ）からかけ直すとき　※ナンバー・ディスプレイご利用時

■ IP電話サービスをご利用の場合でも、加入電話選択番号を設定することにより、固定電話網経由で携帯電話に電話をかけることができる。

■ IP電話サービスをご利用の場合でも、携帯通話プリセット機能解除番号を利用（0000を携帯電話番号の前にダイヤルして発信）すると、IP電話網で携帯電話に電話をかけることができる。（31～32ページ）

■「加入電話選択番号」とは…IP電話サービスをご契約時に、IP電話サービスを利用せずに電話をかける番号（例：0000、0009など）のこと。くわしくは、契約しているIP電話サービス事業者へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能を使う

お買い上げ時は「ON　0033」[IP電話サービス利用　NO(非利用)]に設定されています。
(親機の ▯ が表示されています。)

準備

■ BBフォンなどのIP電話をご利用の場合は、「携帯通話プリセット機能」の設定の変更が必要です。
■ NTT東日本・西日本の「ひかり電話」やNTT東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス(21ページ)をご利用時やホームテレホンや構内交換機(PBX)に接続時、また、IP電話ご利用などで固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合などは、この機能はご利用になれません。必ず設定を「OFF」(解除)にしてください。相手の携帯電話につながらない場合があります。なお、直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能を設定／解除するには

NTTコミュニケーションズ(0033)の場合

1 子機の 機能(戻る) 押し、

 または で“デンワカイセン”を選び、

電話帳/決定 押す

2 または で“ケイタイツウワ”を選び、

電話帳/決定 押す

```
ケイタイツウワ
♦ON 0033
```

● 解除するときは、このあと“OFF”を選び、電話帳／決定ボタンを押す。
(親機の液晶画面の ▯ 消灯)

3 電話帳/決定 押す

```
IPデンワリヨウ?
♦NO
```

4 IP電話サービスをご利用の場合は

 または で“YES”を選び、

電話帳/決定 押す

```
IPデンワリヨウ?
♦YES
```

● IP電話サービスをご利用になっていない場合は“NO”を選び手順6に移る。

5 加入電話選択番号を入力する(最大4桁)

● 設定されている加入電話選択番号が表示される。お買い上げ時は「0000」に設定されている。

```
センタクNo.?
0000
```

● 契約しているIP電話サービスにより、入力する番号は異なる。

6 電話帳/決定 押す

```
ON 0033
センタクNo. 0000
```

(親機の液晶画面の ▯ 表示)

7 切 押す

手順4で“NO”を選んだときは、下記の表示になります。

```
ON 0033
センタクNo. ナシ
```

おしらせ

● 携帯通話プリセット機能を利用した場合、事業者識別番号や加入電話選択番号は、再ダイヤルや発信メモリに記録されません。(ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。)
● 電話をかけるときに自動付与される事業者識別番号や加入電話選択番号は、液晶画面に表示されません。

携帯通話プリセット機能を設定／解除するには

その他事業者の場合

1 子機の 機能（戻る） 押し、

または で“デンワカイセン”を選び、

電話帳/決定 押す

2 または で“ケイタイツウワ”を選び、

電話帳/決定 押す

3 または で“ソノタジギョウシャ”を選び、

- 設定されている事業者識別番号が表示される。お買い上げ時は「0033」に設定されている。
- 解除するときは、ここで“OFF”を選ぶ。（親機の液晶画面の 消灯）

4 事業者識別番号を入力する（4桁〜6桁）

```
ｼﾞｷﾞｮｳｼｬNo.?
0033__
```

- ＊、＃、ポーズは入力できない。
- 「00」から始まる数字を設定する。
- 「0000」「00000」「000000」は設定できない。
- 事業者識別番号は、ここで入力する番号に上書きされる。

5 電話帳/決定 押す

```
IPﾃﾞﾝﾜﾘﾖｳ?
♦NO
```

6 IP電話サービスをご利用の場合は

または で“YES”を選び、

電話帳/決定 押す

```
IPﾃﾞﾝﾜﾘﾖｳ?
♦YES
```

- IP電話サービスをご利用になっていない場合は“NO”を選び手順8に移る。

7 加入電話選択番号を入力する（最大4桁）

```
ｾﾝﾀｸNo.?
0000
```

- 設定されている加入電話選択番号が表示される。お買い上げ時は「0000」に設定されている。
- 契約しているIP電話サービスにより、入力する番号は異なる。

8 電話帳/決定 押す

（親機の液晶画面の 表示）

9 切 押す

（例）

固定電話サービス事業者（事業者識別番号）	対象となる発信側の回線
NTTコミュニケーションズ（0033）	全　国
NTT東日本（0036）	NTT東日本サービス提供エリア内（ 北海道・東北・関東・甲信越地区）の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット64、INSネット64・ライト、INSネット1500
NTT西日本（0039）	NTT西日本サービス提供エリア内（東海・北陸・近畿・中国・四国・九州地区）の加入電話、加入電話・ライトプラン、INSネット64、INSネット64・ライト、INSネット1500

（2006年6月現在）

携帯電話へのダイヤル方法について

■IP電話サービスを利用していない場合

29ページの手順4の「IPデンワリヨウ？」で「NO」を選択されたお客様

携帯通話プリセット機能を利用して電話をかける場合	携帯電話番号をダイヤルしてください。 090－××××－×××× もしくは 080－××××－××××
一時的に 携帯通話プリセット機能を解除して電話をかける場合 （携帯電話会社の留守番サービスの遠隔操作などに電話をかける場合）	携帯電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」をつけてダイヤルしてください。 0000－090－××××－×××× （0000：携帯通話プリセット機能解除番号、090－××××－××××：携帯電話番号） もしくは 0000－080－××××－××××

■IP電話サービスをご利用の場合

29ページの手順4の「IPデンワリヨウ？」で「YES」を選択されたお客様

携帯通話プリセット機能を利用して電話をかける場合	携帯電話番号をダイヤルしてください。 090－××××－×××× もしくは 080－××××－××××
一時的に 携帯通話プリセット機能を解除して「IP電話網経由」で電話をかける場合	携帯電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」をつけてダイヤルしてください。 0000－090－××××－×××× （0000：携帯通話プリセット機能解除番号、090－××××－××××：携帯電話番号） もしくは 0000－080－××××－××××
一時的に 携帯通話プリセット機能を解除して「加入電話網経由」で電話をかける場合 （携帯電話会社の留守番サービスの遠隔操作などに電話をかける場合）	携帯電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」と加入電話選択番号（28ページ）をつけてダイヤルしてください。 0000－0000－090－××××－×××× （0000：携帯通話プリセット機能解除番号、0000：加入電話選択番号、090－××××－××××：携帯電話番号） もしくは 0000－0000－080－××××－××××

■ 加入電話選択番号「0000」はNTT東日本・西日本のVoIP機器をご利用の場合の例です。
ご利用のIP電話サービスに合わせてダイヤルしてください。

携帯通話プリセット機能を使う（つづき）

ご注意

●国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号帯は33ページに記載されている18件の携帯番号帯です。設定されている携帯番号帯を変更することはできません。

●マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なくご利用になれます。

●PHSへの通話は、ご利用いただけません。

●通話先、通話時間、通信事業者の料金体系によっては、一部お安くならない場合があります。くわしくは、ご利用の固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能の設定について

●事業者識別番号は変更することができます。（30ページ）

●IP電話ご利用などで、固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合は、設定を「OFF」（解除）にしてください。「ON」（設定）にしてご使用になりますと、携帯電話への通話料金は、選択した（または設定した）固定電話サービス事業者のご利用分として請求されます。

●次の設定を行なわない場合は、電話がかけられなかったり、携帯電話につながらなかったりする場合があります。

・NTT東日本・西日本の「ひかり電話」やNTT東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する「直収電話サービス」（21ページ）をご利用のお客様は、設定を「OFF」（解除）にしてください。なお、直収電話サービスにつきましては、各サービス事業者へお問い合わせください。

・ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続したときは、設定を「OFF」（解除）にしてください。電話をかけることができない場合があります。（この場合、携帯通話プリセット機能はご利用になれません。）

・BBフォンなどのIP電話をご利用のお客様は、「携帯通話プリセット機能」の設定の変更が必要です。くわしくは、29～30ページをご覧ください。

●IP電話サービスをご利用時、接続するVoIP機器（ルーターなど）によっては、本機能が正しくはたらかない場合があります。

操作について

●次の場合は、本機能ははたらきません。

・通話中にキャッチ／消去ボタンを利用して電話をかけるとき（トリオホンご利用時など）

・「184」「186」などの番号を押してから、ポーズボタンを押してダイヤルしたとき

・ポーズを入れて短縮ダイヤル（51ページ）や電話帳（54ページ）に登録した相手に、短縮ダイヤルや電話帳を利用して電話をかけたとき

・電話をかけるときに「ツー」音が聞こえてから、約18秒以内に携帯電話番号の最初の4桁をダイヤルしなかったとき

●携帯通話プリセット機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本機が事業者識別番号の付与判断を行なっているためであり、故障ではありません。

●携帯通話プリセット機能を「ON」（設定）にしている場合でも、その通話に限り、携帯通話プリセット機能を利用せずに電話をかけることができます。この場合は、通話状態にして（親機は受話器をとる、子機は 発信ボタンを押す）、次に電話番号の前に「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してから、ダイヤルしてください。

●携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作など、一部サービスをご利用いただけない番号があります。この場合は、通話状態にして（親機は受話器をとる、子機は 発信ボタンを押す）、電話番号の前に「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してから、ダイヤルしてください。ただし、NTTコミュニケーションズ以外の固定電話サービス事業者では、直接、船舶電話に電話をかけられない場合があります。

（2006年6月現在）

ご注意（つづき）

事業者識別番号について

- 事業者識別番号は、各事業者ごとに異なります。事業者識別番号や料金体系など、サービスの内容につきましては、各固定電話サービス事業者にお問い合わせください。
- 携帯通話プリセット機能（29ページ）は、登録した固定電話のサービス事業者によりサービス提供エリアが異なります。くわしくは各事業者に直接、お問い合わせください。
- 本機でこの機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に「事業者識別番号」や「加入電話選択番号」をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料金が異なる場合があります。
- 事業者識別番号の設定に、市外局番や、存在しない事業者識別番号を設定すると、相手につながりません。
- その他事業者識別番号（30ページ）、サービス内容および通話料金などにつきましては、各固定電話サービス事業者へ、お問い合わせください。
- 事業者識別番号を消去することはできません。
- 30ページの手順4で、何も入力せずに電話帳／決定ボタンを押すと、「ピピピ」と鳴って、30ページの手順2の画面に戻ります。

携帯番号帯について

「080」「090」で始まる携帯電話番号の上位4桁のことです。
お買い上げ時は、あらかじめ携帯番号帯が18件（右表）設定されており、変更することはできません。

■ 本機では「0800」「0900」で始まる番号は、携帯通話プリセット機能の対象になりません。

●設定されている携帯番号帯（18件）

0801	0901
0802	0902
0803	0903
0804	0904
0805	0905
0806	0906
0807	0907
0808	0908
0809	0909

お買い上げ時に本機の携帯通話プリセット機能で登録・設定されている「0033モバイル」（NTTコミュニケーションズ）に関するお問い合わせは

NTTコミュニケーションズ　カスタマーズフロント

コールコール
0120−506506

受付時間：午前9：00〜午後9：00
（年末年始は除きます）
（2006年6月現在）

※本機の機能・設定に関するお問い合わせは、弊社お客様相談室（89ページ）にお問い合わせください。

電話をかける／受ける

親機や子機で電話をかけるには

1 ■親機は受話器をとり、
ツー音が聞こえたらダイヤルする

■子機は充電器からとり、
（充電器上にないときは [外線] を押してから）
ツー音が聞こえたらダイヤルする

2 話す

3 終わったら、
■親機は受話器を戻す
■子機は充電器に戻すか [切] を押す

親機や子機で電話を受けるには

1 呼出音が鳴ったら、
■親機は受話器をとり、
話す

■子機は充電器からとり、
（充電器上にないときは を押してから）
話す

2 終わったら、
■親機は受話器を戻す
■子機は充電器に戻すか [切] を押す

こんなこともできます

■声の大きさを変えるには（受話音量）

通話中に、親機は [音量]、子機は [▲] または [▼] を押す（24ページ）

■通話中に待ってもらうには（保留）

通話中に、親機は [内線/保留]、子機は [文字 内線/保留] を押す

（相手に保留メロディ「曲名：カノン」）が流れる。

●通話に戻るには、もう一度、親機は [内線/保留]、子機は [文字 内線/保留] を押す

■キャッチホンを受けるには（NTTとの契約が必要）

通話中に、親機は [キャッチ/消去]、子機は [キャッチ 消去] を押す

●元の相手との通話に戻るには、もう一度、キャッチ／消去ボタンを押す

●構内交換機（PBX）を利用した内線の場合、フックスイッチを押すかわりに [キャッチ/消去] を押すと、同様のはたらきが行なえる

■ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号を送るとき）

相手につながったら、親機は [トーン/▲ ＊]、子機は [トーン ＊] を押す

●電話番号を入力したあとに、親機は受話器をとる、子機は [外線] を押しても電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）

親機で短縮ダイヤルを使ってかけるには

■ 短縮ダイヤルへの登録（51ページ）

1 短縮 押す

2 かけたい短縮番号を押す
（00～19のいずれか1つ）

（例） ⓪ ①

● ＊ または ＃ で選ぶこともできる。

3 受話器をとる

4 話す

親機でワンタッチダイヤルを使ってかけるには

1 受話器をとる

2 ツー音が聞こえたら、いずれか1つを押す

ワンタッチダイヤル
① ② ③

3 話す

■ 手順1を行なわずに手順2を行なうとスピーカー拡声を利用できる。

子機で電話帳を使ってかけるには

■ 電話帳への登録（54ページ）

1

押す

2 または で相手を選ぶ

3 押す

4 話す

●名前を探すときは、手順1のあとに続けてダイヤルボタンで名前の頭文字の一文字（50音の行の先頭文字）を入力する。
●英字・記号・数字を入力することはできない。

かける／受ける

ご注意

●間違い電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
●クイック通話設定時（86ページ）、子機を充電器からとると 発信ランプが点滅します。
●外線通話中、ドアホンの呼出音が鳴っている間（数秒間）は、通話が中断されます。
●ISDN回線やADSL回線（IP電話サービス）をご利用の場合および事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、相手の声が聞きとりにくくなったり、反響する場合があります。この場合は「スプリッタ・TA設定」（86ページ）を行なってください。（症状が緩和される場合があります。）
●液晶画面で通話時間を表示します。あくまでも目安としてご使用ください。ただし、親機は電話をかけたときには通話時間を表示しません。また、通話中にダイヤルボタンを押した場合は、通話時間の表示をやめダイヤルの表示に変わります。（子機は発信メモリなどでダイヤルした場合は、入力した電話番号が液晶画面にすべて表示されてから、通話時間の表示が始まります。そのため、通話時間の表示開始は、入力した電話番号の桁数により異なります。＊着信メモリ・電話帳・先押しダイヤルでかけた場合も同様です。）
●携帯通話プリセット機能（28～33ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号が、自動的に付与されます。このとき親機の が約5秒間点滅します。なお、自動付与される事業者識別番号は、液晶画面に表示されません。
●外からの電話を保留している状態が約15分間続くと、自動的に電話は切れます。
●親機や子機で保留された電話は、保留した親機や子機以外では、通話に戻ることはできません。
●電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、「キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かり」の通知音です。

親機や子機で同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）

最後にかけた相手に簡単な操作でかけ直すことができます。かけ直すときに便利です。

1 ■親機は受話器をとり、

ツー音が聞こえたら 発信/着信メモリ 押す

■子機は充電器からとり、

（充電器上にないときは を押してから）

ツー音が聞こえたら 着信メモリ・電話帳/決定・発信メモリ 押す

2 話す

親機や子機で同じ相手にかけ直すには（発信メモリ）

電話をかけたとき相手先の電話番号が自動的に記録され、簡単な操作でかけ直すことができます。（新しい順に最大10件／20桁）

1 ■親機は 発信/着信メモリ 押し、

トーン/▲ ＊ または ▼/ガード ＃ で相手を選ぶ

■子機は 着信メモリ・電話帳/決定・発信メモリ 押し、

▲ または ▼ で相手を選ぶ

● ▼/ガード ＃ （子機は ▼ ）を押すごとに新しい電話番号から表示される。

2 ■親機は受話器をとる

■子機は 外線 押す

親機で発信メモリを消去するには

1 発信/着信メモリ 押し、

トーン/▲ ＊ または ▼/ガード ＃ で消去する番号を選ぶ

2 キャッチ/消去 押す

●液晶画面の電話番号が点滅する。

●すべて消去したいときは、手順1のかわりに 発信/着信メモリ を2秒以上押す。

3 キャッチ/消去 押す

4 再生/停止 押す

■ 発信メモリをすべて消去すると、着信メモリもすべて消去される。

子機で発信メモリを消去するには

1 着信メモリ・電話帳/決定・発信メモリ 押し、

▲ または ▼ で消去する番号を選び、機能 戻る 押す

2 ▲ または ▼ で“ショウキョ（1ケン）”選ぶ

●すべて消去したいときは、ここで“ショウキョ（スベテ）”を選ぶ。

3 電話帳/決定 2回押す

4 切 押す

発信メモリについて

●発信メモリは、親機と子機で別々に記録される。
●発信メモリが10件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録される。
●子機は、電話帳を利用して電話をかけたときに、電話帳に登録した名前と電話番号が記録され、名前が表示される。 ＃記号 を押すと、表示が「電話番号」に切りかわり、もう一度押すと前の表示に戻る。
●携帯通話プリセット機能（28～33ページ）を利用して発信メモリから携帯電話に電話をかけると、事業者識別番号が自動的に付与される。（ダイヤル画面には表示されない。）このとき親機の▯が約5秒間点滅する。ただし事業者識別番号は、再ダイヤルや発信メモリには記録されない。
●＊、＃、ポーズ（51・54ページ）なども 1桁として記録される。

親機でオンフックダイヤル／スピーカー拡声を使う

親機は、受話器を置いたままダイヤルし、相手が出てから通話に移ることができます。テレホンサービスを聞くなど通話しない場合は、受話器を置いたままスピーカーで聞くことができます。ただし、停電中は使用できません。

■電話をかけるには

発信 を押してからダイヤルし（ 表示）、相手の声がスピーカーから聞こえたら、受話器をとる

子機でハンズフリー通話を使う

子機を持たずに通話することができます。相手の声はスピーカーから聞こえます。話すときはマイクに向かって話します。
（ただし、停電中は子機を使用できません。親機の受話器でお話しください。）

■電話をかけるには

ハンズフリー を押し、ツー音が聞こえたらダイヤルする

（約50cmを目安に）

■電話を受けるには

ハンズフリー を押す

● ハンズフリー通話を終わるときは、切 を押す。

● ハンズフリー通話中は、液晶画面に が表示される。

● 通常の通話に戻るには、もう一度 ハンズフリー を押す

ハンズフリー通話を使用するときのご注意

ハンズフリー通話を使用するときのお願い
騒音のない静かな場所でご使用ください。

● 周囲にラジオやテレビ等の音源や、エアコンの吹き出し音（サー音）などの騒音があると、音がとぎれる場合があります。
● マイクからの距離は、約50cmが目安です。離れすぎると相手に声が届きにくくなります。また、近すぎると声が大きすぎて反響し、相手の声が聞きとりにくくなります。
● 周りの音が大きいときや騒がしいときは、自分の声や相手の声がとぎれて会話しにくくなることがあります。
● 相手の話がいったん終わったところで話すと、スムーズな会話をすることができます。
● 相手の声が小さいときは、上下左右ボタンを押してスピーカー音量を大きくしてください。
● 子機を手に持ってレシーバーを耳に当てた状態では、ハンズフリー通話をご使用にならないでください。
● 天気予報（177）など、連続してスピーカーで聞く場合は、音声がとぎれる場合があります。

親機と子機／子機と子機で話す（内線通話／子機間通話／一斉呼出）

子機を2台以上お使いのときは、親機やすべての子機を一斉に呼出すこともできます。（一斉呼出）

■ 子機どうしで話すには、TF-VD1100をお買い上げの場合、子機の増設が必要です。（71ページ）

■ 親機（または子機）が外線通話中に、使用していないその他の子機（または親機）で、内線通話や子機間通話をすることができます。

親機から子機を呼出して話をするには

（親機）（送り手）

（子機）（受け手）

1 内線/保留 押し、

子機の内線番号（① ～ ④）を押す

呼出す

呼出音が鳴ったら、充電器から子機をとる

（充電器上にないときは 文字 内線/保留 押す）

2

受話器をとり、話す

親機と話す

3 終わるときは、受話器を戻す

終わるときは、充電器に戻す

（または 切 押す）

子機から親機を呼出して話をするには

（子機）（送り手）

（親機）（受け手）

1 文字 内線/保留 押し、 電話帳/決定 押す

子機が2台以上あるときは 文字 内線/保留 を押したあと または で通話先を選び、電話帳/決定 押す。

● 親機の内線番号（0）を押すと、電話帳／決定ボタンを押さずに、呼出すことができる。

呼出す

呼出音が鳴ったら、受話器をとる

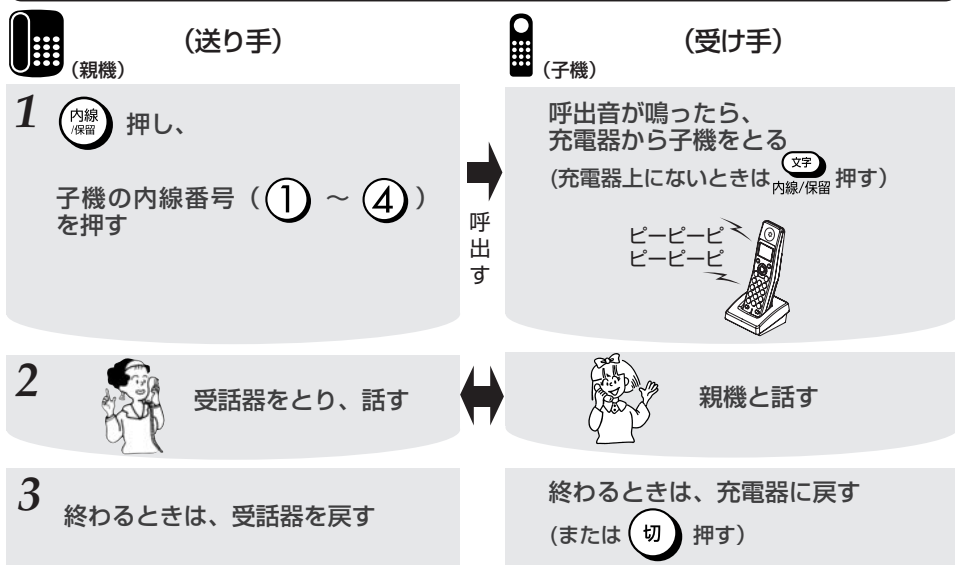
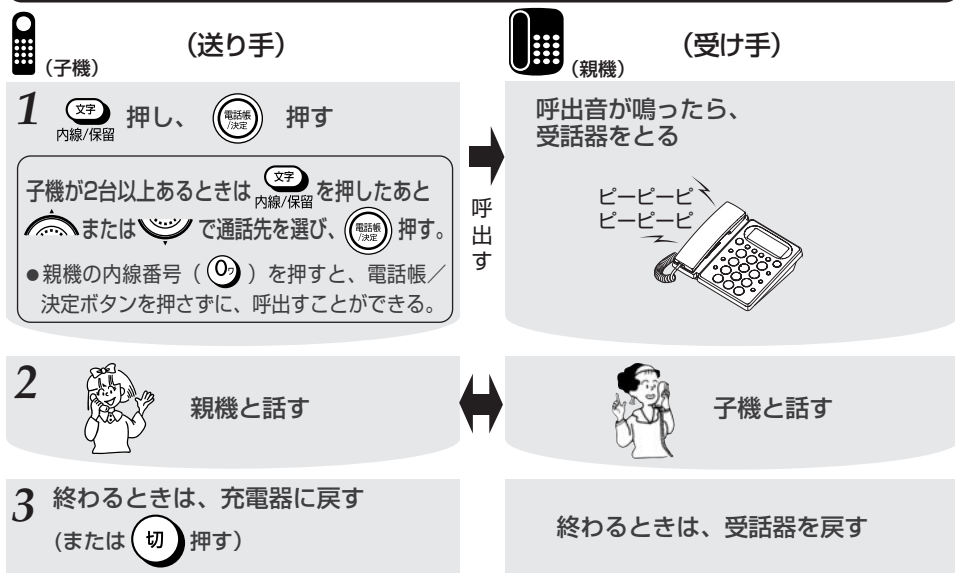
2

親機と話す

子機と話す

3 終わるときは、充電器に戻す

（または 切 押す）

終わるときは、受話器を戻す

子機から他の子機を呼出して話をするには

（子機）（送り手）　　　　（他の子機）（受け手）

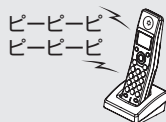
1 文字 内線/保留 押し、電話帳/決定 押す

文字 内線/保留 を押したあと、▲または▼で通話先を選び、電話帳/決定 押す。

●子機の内線番号（1ア～4タGHI）を押すと、電話帳／決定ボタンを押さずに、呼出すことができる。

呼出す →

呼出音が鳴ったら、充電器から子機をとる

（充電器上にないときは 文字 内線/保留 押す）

2 他の子機と話す   子機と話す

3 終わるときは、充電器に戻す

（または 切 押す）

終わるときは、充電器に戻す

（または 切 押す）

親機（または子機）からすべての子機（および親機）を一斉に呼出すには（一斉呼出）

外線通話中にもこの機能を利用して電話をまわすことができます。

■親機から呼出すには

1. 内線/保留 を押す
2. ＃ を押す

（すべての子機の呼出音が鳴る）

3. 内線に出た相手と話す

■子機から呼出すには

1. 文字 内線/保留 を押す
2. ▲または▼で"イッセイ　ヨビダシ"を選び、

 電話帳/決定 を押す（または ＃記号 を押す）

（親機とすべての子機の呼出音が鳴る）

3. 内線に出た相手と話す

内線通話中や子機間通話中に外から電話がかかってくると

内線通話や子機間通話が自動的に終わり、外からの着信の呼出音（26ページ）が鳴り始めます。

■親機で話すには

1. 一度、受話器を戻す
2. 再度、受話器をとる（外の相手と話せる）

■子機で話すには

 を押す

おしらせ

●内線通話や子機間通話は、通話料金はかかりません。

●送り手が呼出しを止めたいときは、親機の 内線/保留 または 再生/停止 、子機の 文字 内線/保留 または 切 を押してください。

親機や子機に電話をまわす（保留転送／子機間転送）

外からの電話を子機にまわすことができます。

親機から子機にまわすには

（親機）　（送り手）

（子機）　（受け手）

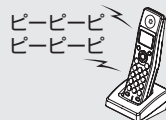
1 外の相手と通話中に

押し、

子機の内線番号（）を押す

- 外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れる。

呼出す

呼出音が鳴ったら、充電器から子機をとる
（充電器上にないときは 文字 内線/保留 押す）

2
通話をまわすことを伝える

親機と話す

3 終わるときは、受話器を戻す

- 内線通話が切れ、子機と外の相手が通話できる。

外の相手と話をする

ひとりで親機から子機にまわすには

1. 親機側で を押す

2. 子機の内線番号（）を押し、受話器を戻す

3. 子機側の呼出音が、外線着信の呼出音に変わったら、約30秒以内に充電器からとるか を押す

- 送り手が呼出しを止めたいときや、手順1で電話をまわす操作を中断したいときは、（内線/保留）を押してください。外からの電話に戻ります。
- ひとりで親機から子機にまわすとき、送り手が呼出してから、約30秒以内に受け手が出ないと、送り手の呼出音が鳴ります。（コールバック）
- 内線で呼出されているときにコールバックされると、受け手はコールバックが優先され、内線呼出は自動的に終了し通常の呼出音に変わります。一方、送り手はそのまま内線呼出を続けます。（最大約2分間）

外からの電話を親機にまわすことができます。

子機から親機にまわすには

（子機）　（送り手）

（親機）　（受け手）

1 外の相手と通話中に

子機が2台以上あるときは 文字 内線/保留 を押したあと、 または で通話先を選び、 電話帳/決定 押す。

● 親機の内線番号（0）を押すと、電話帳／決定ボタンを押さずに、呼出すことができる。

● 外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れる。

呼出す

呼出音が鳴ったら、
受話器をとる

2

通話をまわすことを伝える

子機と話す

3 終わるときは、充電器に戻す

（または 切 押す）

● 内線通話が切れ、親機と外の相手が通話できる。

外の相手と話す

ひとりで子機から親機にまわすには

1. 子機側で 文字 内線/保留 を押す

● 子機が2台以上あるときは または で親機を選ぶ

2. 電話帳/決定 を押し、充電器に戻す（または 切 を押す）

3. 親機側の呼出音が、外線着信の呼出音に変わったら約30秒以内に受話器をとる

おしらせ

● 送り手が呼出しを止めたいときや、手順1で電話をまわす操作を中断したいときは、文字 内線/保留 を押してください。外からの通話に戻ります。

外からの電話を他の子機にまわすことができます。

子機から他の子機にまわすには

（子機）　（送り手）

（他の子機）　（受け手）

1 外の相手と通話中に

文字 内線/保留 押し、 押す

子機が3台以上あるときは 文字 内線/保留 を押したあと または で通話先を選び、電話帳/決定 押す。

- 子機の内線番号（1～4）を押すと、電話帳／決定ボタンを押さずに、呼出すことができる。

- 外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れる。

呼出す

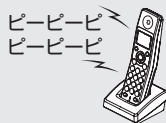
呼出音が鳴ったら、充電器から子機をとる

（充電器上にないときは 文字 内線/保留 押す）

2 通話をまわすことを伝える

 子機と話す

3 終わるときは、充電器に戻す

（または 切 押す）

- 内線通話が切れ、他の子機と外の相手が通話できる。

 外の相手と話をする

ひとりで子機から他の子機にまわすには

1. 送り手の子機側で 文字 内線/保留 を押す

- 子機が3台以上あるときは または で通話先を選ぶ。

2. 電話帳/決定 を押し、充電器に戻す（または 切 を押す）

3. 他の子機側の呼出音が、外線着信の呼出音に変わったら、約30秒以内に充電器からとるか を押す

おしらせ

- 送り手が呼出しを止めたいときや、手順1で電話をまわす操作を中断したいときは、文字 内線/保留 を押してください。外からの通話に戻ります。

子機と親機（子機）と外の相手の3人で話す（三者通話）

子機と親機（子機）と外の相手の3人で同時に話すことができます。

親機から子機を呼出して三者通話をするには

（親機）

（送り手）

（子機）

（受け手）

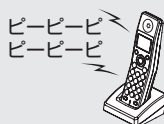
1 外の相手と通話中に

押し、

子機の内線番号（①～④）を押す

●外の相手との通話が保留になり、
外の相手に保留メロディが流れる。

呼出す

呼出音が鳴ったら、
充電器から子機をとる
（充電器上にないときは 文字 内線/保留 押す）

2
3人で話すことを伝える

親機と話す

3 機能 押し、3人で話す

●受け手は 機能 戻る を押しても、
三者通話にすることはできない。

ご注意

- 子機はハンズフリー（37ページ）で三者通話をすることができます。
  なお、親機と子機の距離・子機と子機の距離が近い場合や、両方の子機でハンズフリー通話をした場合、声が反響して相手の声が聞きとりにくくなります。
- 三者通話中に別の子機（または親機）に保留転送するときは、三者通話中の親機または子機のどちらかで通話を止める操作（親機は受話器を戻す、子機は 切 を押す）をし、二者通話にしてから保留転送（40～42ページ）の操作をしてください。
- 三者通話中にキャッチホン（34ページ）の信号が聞こえたときは、キャッチボタンを押すと、通話中にかかってきた別の相手と三者通話のまま話をすることができます。（三者通話中の親機でも子機でも操作することができます。）この場合でも三者通話を止める操作をしなければ、三者通話は継続されます。
- キャッチホン・ディスプレイ（57ページ）をご利用の場合、通話中にかかってきた別の相手の電話番号は、三者通話中の親機または子機の液晶画面に表示されます。

子機から親機（または他の子機）を呼出して三者通話をするには

（子機）　（送り手）

（親機）（他の子機）　（受け手）

1 外の相手と通話中に

文字 内線/保留 押し、 押す

子機が2台以上あるときは 文字 内線/保留 を押したあと または で通話先を選び、電話帳/決定 押す。

● 親機の内線番号（0）または子機の内線番号（1～4）を押すと、電話帳／決定ボタンを押さずに、呼出すことができる。

● 外の相手との通話が保留になり、外の相手に保留メロディが流れる。

→ 呼出す

■ 親機で受けるときは
呼出音が鳴ったら、受話器をとる

■ 子機で受けるときは
呼出音が鳴ったら、
充電器から子機をとる

（充電器上にないときは 文字 内線/保留 押す）

2 3人で話すことを伝える

 子機と話す

3 機能 戻る 押し、3人で話す

● 受け手は 機能 を押しても、三者通話にすることはできない。

ご注意（つづき）

- 外の相手と話をしている親機（または子機）に、他の子機（または親機）が強制的に割り込んで三者通話にすることはできません。
- 三者通話中は、三者通話していない親機または子機の液晶画面に「LINE IN USE」（親機）「カイセン　シヨウチュウ」（子機）と表示されます。なお、このときに登録・設定操作をしても、操作できない場合があります。液晶画面が通常状態（13・15ページ）に戻ってから、操作してください。
- 三者通話中の親機や子機では、ダイヤルすることや保留することができません。
- 三者通話から二者通話にするときは、三者通話中の親機または子機のどちらかで通話を止める操作（親機は受話器を戻す、子機は 切 を押す）をしてください。

留守番機能を操作する

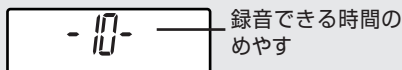
固定の応答メッセージを内蔵していますので、留守ボタンを押すだけで留守セットできます。
自分で応答メッセージをつくることもできます。(48ページ)
子機でも留守番機能を操作できます。

親機で留守セットするには

お出かけ前に

押して点灯させる

→応答メッセージが流れ、留守セットされる。

- 一度も聞いていない用件が録音されている状態で留守セットすると点滅し、新しい用件(一度も聞いていない用件)をすべて再生すると点灯に変わる。
- 応答メッセージを切りかえるとき→48ページ
- 親機で留守セットすると、子機の液晶画面にも **留守** が表示される。

録音できる時間のめやす

親機で留守解除するには

帰ってきたら、

押して消灯させる

- 留守解除され、「新しい用件は○件です。(一度聞いた用件は△件です。)」とお知らせし、新しい用件の1件目から着信日時と用件が再生される。(タイムスタンプ)

■新しい用件を録音された順に再生したあと、一度聞いた用件を録音された順に再生する。
■親機で留守解除すると、子機の液晶画面の **留守** が消灯する。

留守番電話の応答中に電話に出るには

親機は受話器をとる(子機は充電器からとる、または (外線) を押す)

- 留守動作が自動的に停止する。

子機で留守セットするには

1 機能

押し、

(▲) または (▼) で“ルスデン　ソウサ”を選び、
(電話帳/決定) 2回押す

2 (▲) または (▼) で“ON”を選び、
3 (切) 押す
(液晶画面に **留守** 表示)

■親機の (留守) も点灯する。

子機で留守解除するには

1 機能
(▲) または (▼) で“ルスデン　ソウサ”を選び、
(電話帳/決定) 2回押す

2 (▲) または (▼) で“OFF”を選び、
3 (切) 押す
(液晶画面の **留守** 消灯)

■親機の (留守) も消灯する。

用件録音時間と件数について

■1件あたりの最大録音時間は、約5分です。
■合計約10分、件数では最大59件まで録音できます。
■録音の残り時間がないとき、または、録音件数が59件に達しているときは、応答メッセージは、応答専用メッセージに切りかわります。(48ページ)
■約8秒以上無音が続いたときや、相手が何も話さなかったときは、自動的に録音を終了します。

おしらせ

- 呼出音の音量を「消音」に設定(23ページ)してから留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守応答できます(消音留守セット)。
子機で呼出音を「消音」に設定していないと、子機の呼出音は鳴ります。
子機では消音留守セットはできません。

親機で留守解除せずに用件を聞くには

帰ってきたら、再生/停止 押す

- 新しい用件は○件です。（一度聞いた用件は△件です。）とお知らせします。新しい用件と着信日時を録音された順に再生し、そのあと一度聞いた用件と着信日時を録音された順に再生する。

■ 新しい用件の再生が終了すると 留守 の点滅が点灯に変わる。

子機で用件を聞くには

1 機能 戻る 押し、

または で"ヨウケンサイセイ"を選び、

電話帳/決定 2回押す

2 再生が終わったら、切 押す

■ 手順1で 電話帳/決定 を2回押すかわりに、電話帳/決定 を押してから 2カABC を押しても用件を聞くことができる。

こんなこともできます

再生中にできること	親機	子機
いま再生中の用件を聞き直す	①	1ア
1つ前の用件を聞く	① ▶ ① （約2秒以内に続けて押す）	1ア ▶ 1ア （約2秒以内に続けて押す）
次の用件を聞く	③	3サDEF
個別消去 （用件を1つずつ消去する）	キャッチ/消去	キャッチ 消去
再生を止める	再生/停止	切
再生を止めたとき、再び、1件目から再生する	再生/停止	上記の「子機で用件を聞くには」の操作をしてください。

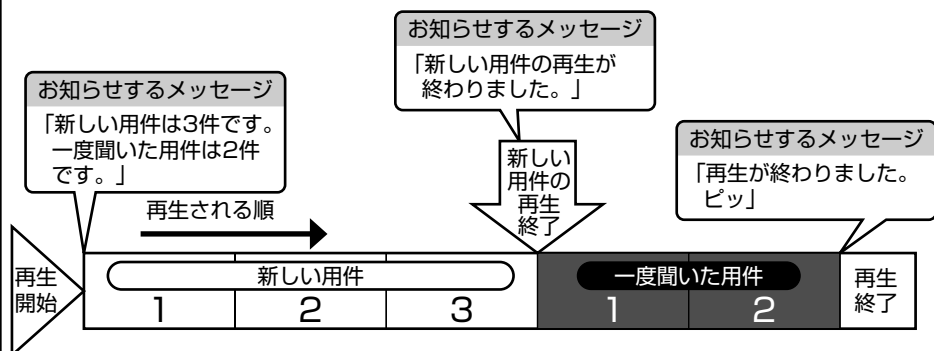
留守番機能

親機ですべての用件を消去するには（全消去）

受話器を置いた状態で ▶ キャッチ/消去 2秒以上押し続ける

・・・すべての用件が消去される。

留守応答中に相手を確認してから電話にでる（居留守モニター）

- 在宅中に留守セットしておくと、留守動作中に相手の声を親機や子機のスピーカーで聞くことができます。親機は、自動的にスピーカー拡声されます。（ただし、親機で消音を設定しているときは、スピーカーから相手の声は聞こえません。）子機は、留守動作中（子機の液晶画面に「ルス　チャクシンチュウ」と表示されているとき）に、機能/戻る を押してください。子機の液晶画面に 🕪 が表示されます。
- 子機は同時に2台までモニターできます。
- 留守セットしていなくても、外から電話がかかってきたときに 留守 を押すと、応答メッセージが流れ、留守番機能がはたらきます。（子機ではできません。）
- 留守番動作中にドアホンから呼出しがあっても、ドアホンに応答することはできません。（すべての子機および親機でドアホンの呼出音は鳴ります。この場合、一度、応答中の電話に最初にでて電話を切るか、留守番動作が終了してから、ドアホンに応答してください。最初にドアホンの呼出音が鳴ってから約30秒を過ぎた場合は、ドアホンに呼びかける操作（65ページ）をしてください。

自作応答メッセージにする

（子機）

自分の声で応答メッセージをつくることができます。（自動的に録音したメッセージに切りかわります。）
（子機で応答メッセージをつくると親機でも子機でも利用できます。）

自作応答メッセージを録音する	応答メッセージを切りかえる	自作応答メッセージを消去する

1 子機の 機能 戻る 押す
または で“ルスデン ソウサ”を選ぶ
押す
または で“オウトウメッセージ”を選ぶ
押す

自作応答メッセージを録音する	応答メッセージを切りかえる	自作応答メッセージを消去する
2 または で“ロクオン”を選び 電話帳/決定 押す	**2** または で“キリカエ”を選び 電話帳/決定 押す	**2** または で“ショウキョ”を選び 電話帳/決定 押す
3 電話帳/決定 押して 応答メッセージをマイクに向かって吹き込み(30秒以内)、 電話帳/決定 押す ●録音した応答メッセージが流れる。	**3** または で“ジサクメッセージ”または“コテイメッセージ”を選び 電話帳/決定 押す	**3** もう一度 電話帳/決定 押す
4 切 押す ●自動的に録音したメッセージに切りかわる。	**4** 切 押す	**4** 切 押す

■手順2で“サイセイ”を選ぶと、現在設定されている応答メッセージが再生される。

内蔵（固定）応答メッセージについて

■固定応答メッセージ
「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

■応答専用メッセージ（選んで設定することはできません。）
※用件録音ができないとき(録音残量がないとき／59件録音されているとき)、自動的に切りかわる
「ただ今留守にしております。申し訳ありませんが、これ以上録音できません。のちほどおかけ直しください。」

おしらせ

- 用件を録音できる時間（45ページ）は、自作応答メッセージの長さに応じて短くなります。
- 自作応答メッセージを録音していても、用件録音ができないときは、自動的に応答専用メッセージに切りかわります。
- 録音残量や録音件数にご注意ください。「自作応答メッセージを録音する」の手順2のあとに、「ロクオンガ　イッパイデス」と表示されたときは、すでに録音がいっぱいです。録音残量がなくなると、自作応答メッセージをつくることができません。不要な用件を消去してください。（46・47ページ）

留守番機能

外出先から用件を聞く（リモコン操作）

暗証番号を登録すると外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。用件をすべて聞くと、約20秒間のリモコン待ち状態になります。
必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。

1 暗証番号を登録する

1 子機の 機能/戻る 押し、

 または で "ルスデン　ソウサ"を選び、

電話帳/決定 押す

2 または で "アンショウバンゴウ"を選び、

電話帳/決定 押す

3 暗証番号を入力し(3桁)、 電話帳/決定 押す

（例）

- まちがえたときは、 キャッチ/消去 を押す。

- すでに登録されているときは ＊＊＊と表示される。（確認することはできない。）電話帳／決定ボタンを押すと、入力画面になる。

4 切 押す

■暗証番号を消去するときは

手順2のあとで キャッチ/消去 を押し、 電話帳/決定 を押す

2 お出かけ前に、留守セットする

親機の 留守 押して点灯させる

新しい用件が録音されているか否かを外出先で知る（トールセーバ機能）

外出先から電話して、新しい用件の有無を確認することができる機能です。

外から電話をかける

3回目の呼出音でつながったとき
→新しい用件が録音されています。 ▶ 暗証番号を入力すると、新しい用件1件目から再生します。

3回目の呼出音でつながらなかったとき
→新しい用件が録音されていません。
（4回目の呼出音が聞こえてすぐに電話を切ると、通話料金がかかりません。このとき、電話を切らないと6回目で留守応答が始まります。）

- どちらの場合も、電話がつながったら通話料金がかかります。
- 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出音の回数が一致しないことがあります。

外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞いたり、留守セットできます。
■あらかじめ暗証番号の登録が必要です。（49ページ）

3 外出先から用件を聞くには

1 自宅に電話をかける

2 応答メッセージが聞こえたら
(#) 暗証番号を押す（約8秒以内）

3

新しい用件が
1件目から再生される

- 再生が終わると「再生が終わりました」と聞こえる。
- 新しい用件がないときは、「用件は録音されていません」と聞こえる。

4 電話を切る

再生終了後(20秒間)にできること

■用件をはじめから聞き直すには、(2)を押す
(途中で再生を中止したときは、
中止した次の用件から再生されます)

■留守セット／解除するには、(#)(6)を押す

■用件をすべて消去するには、(#)(⁎) を押す

外出先から留守セットするには

1. 自宅に電話をかけ呼出音を約15回鳴らす
2. 応答メッセージが聞こえたら、(#) 暗証番号を押す
   - 新しい用件があるとき
     →1件目から再生される
     (2)を押す、または用件をすべて再生すると、リモコン待ち状態になる
   - 新しい用件がないとき
     →「用件は録音されていません」と聞こえ、リモコン待ち状態になる
3. (#)(6) と押す
4. 「留守を設定しました」と聞こえたら、電話を切る

再生中にできること

■再生を止めるには、(2) を押す
(リモコン待ち状態に移る)

■再生中の用件を聞き直すには、(1) を押す

■1つ前の用件を聞くには、(1)(1) を押す
(約2秒以内に1秒間隔で続けて押す)

■次の用件を聞くには、(3) を押す

■現在再生中の用件を消すには、(#)(4)を押す
(個別消去)

おしらせ

- 「(#) 暗証番号」を押しても、用件が再生されないときは、再度、手順2を行なってください。
- 暗証番号を押し間違えても、電話は切れません。
- 手順2で「(#) 暗証番号」の入力間隔を約8秒以上あけると、電話は切れます。
- リモコン操作で用件を聞いても、留守セットは解除されません。
- 次のリモコン操作がうまくできない場合は、下記の手順でもう一度操作してください。
  - ・留守セット／解除する……もう一度 (6)を押すか、(#) を押してから(6)を押す操作を素早く行なってください。
  - ・用件をすべて消去する……もう一度 (⁎) を押すか、(#) を押してから (⁎) を押す操作を素早く行なってください。
  - ・個別消去する………………もう一度 (4) を押すか、(#) を押してから (4) を押す操作を素早く行なってください。
  - ・1つ前の用件を聞く………同じ用件が繰り返し再生される場合は、もう一度 (1) を素早く2回押してください。
- 録音がいっぱいになると、自動的に応答専用メッセージ（48ページ）になります。録音された用件が必要ないときは、個別消去するか、手順3で「再生が終わりました。録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」と聞こえたら (#) を押してから、(⁎) を押して、用件をすべて消去してください。

親機の短縮ダイヤルに登録する

（親機）

よくかける相手の電話番号を親機の短縮ダイヤル（最大20件）に登録しておくと、簡単にかけることができます。また、鳴り分け（59ページ）を利用して、短縮ダイヤルに登録された人と登録されていない人の呼出音の種類を異なる音に設定し、区別することができます。

■短縮ダイヤルでかけるには（35ページ）

短縮ダイヤルに登録するには

1 機能 押して 短縮 押す

2 登録したい短縮番号を押す（00～19のいずれか1つ）

（例）⓪①

3 市外局番から電話番号を入力し（最大20桁）、機能 押す

- まちがえたときは、キャッチ/消去 押す。

■電話番号に「ポーズ」を入れるときは、手順3で 発信/着信メモリ を押す。

♪ワンポイント

短縮ダイヤル“01”、“02”および“03に登録すると、それぞれワンタッチダイヤルのワンタッチダイヤル ①②③に登録されます。ワンタッチダイヤルを利用すると、簡単に電話をかけることができます。

発信メモリから短縮ダイヤルに登録するには

1 発信/着信メモリ 押す

2 トーン/▲ ＊ または ▼/ガード ＃ で登録したい電話番号を選び、短縮 押す

- 未登録の短縮番号を、自動的に割り当てる。他の短縮番号に登録したいときは、トーン/▲ ＊ や ▼/ガード ＃ を押して選択する。

3 機能 押す

■着信メモリから登録することもできる。（58ページ）

短縮ダイヤルを修正するには

1 短縮 押す

2 修正したい短縮番号を押す（00～19のいずれか1つ）

（例）⓪⑧

- トーン/▲ ＊ または ▼/ガード ＃ で選ぶこともできる。

3 機能 押す

- 電話番号の先頭の数字が点滅する。

4 市外局番から電話番号を入力し（最大20桁）、機能 押す

- まちがえたときは、キャッチ/消去 押す。

短縮ダイヤルを確認／消去するには

1 短縮 押す

2 確認または消去したい短縮番号を押す（00～19のいずれか1つ）

（例）⓪①

- 確認を終わるときは 再生/停止 押す。

3 キャッチ/消去 押す

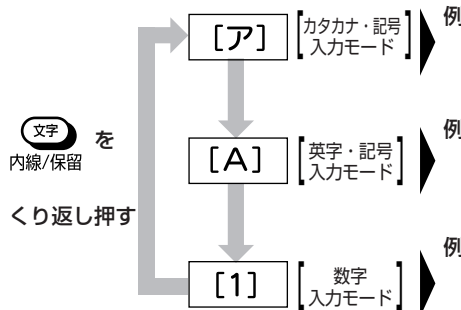
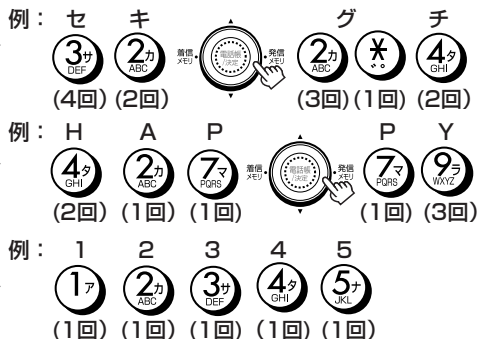
- 短縮番号と電話番号が点滅する。

4 キャッチ/消去 押す

電話帳

文字を入力する

本機の子機では、電話帳の登録（54ページ）、名称登録（19ページ）などの文字を入力して活用する機能があります。文字の入力が必要になったときに、このページを参照してください。
（親機には電話帳や名称登録の機能はありません。）

1 文字入力画面で**文字の種類を選ぶ**

2 **文字を入力する**

■ まちがえたときは、キャッチ 消去 を押す。

こんなときは

■ 同じボタンの文字を続けて入力するには
例：アイ

■ スペースを入れるには、英字・記号入力モードにしてから、1ア を押す。

■ カーソルを左に移動するには、着信メモリ を押す。
右に移動するには、発信メモリ を押す。

■ 途中でやめるには、切 を押す。

挿入・修正・消去するには

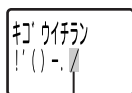
■ 挿入するには、挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する。

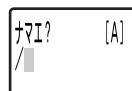
■ 修正するには、修正する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去 を押してから文字を入力する。

■ 消去するには、消去する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去 を押す。

■ 記号を入力するとき

 押し、カタカナ・記号入力モードまたは英字・記号入力モードにしてから、

 を押して記号を選ぶ

反転表示は選択中を示す

（電話帳/決定）押す

● 決定された記号が入力され、「名前入力画面」に戻る

文字入力対応表

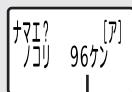
ボタン＼表示	[ア] 表示	[A] 表示	[1] 表示
1ア	アイウエオ ァィゥェォ	スペース(空白)	1
2カ ABC	カキクケコ	ABC abc	2
3サ DEF	サシスセソ	DEF def	3
4タ GHI	タチツテトッ	GHI ghi	4
5ナ JKL	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6ハ MNO	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7マ PQRS	マミムメモ	PQRS pqrs	7
8ヤ TUV	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8
9ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
0ワ	ワヲンー（長音）		0
＊ ゛゜	゛（濁点）゜（半濁点）		＊
＃ 記号	！’（）ー．／		＃

電話帳に登録する

よく利用される電話番号と名前を、子機ごとにそれぞれ最大100件まで登録しておくことができます。
■子機の電話帳に登録した内容を、他の子機の電話帳にコピーできます。（56ページ）
■電話帳でかけるには（35ページ）

子機の電話帳に登録するには

1

 押す

登録できる残りの件数を表示

2 名前を入力し（最大12文字）、

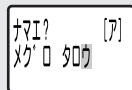
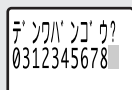
 押す

- 文字入力のしかた（52～53ページ）

ﾅﾏｴ?　　　[ｱ]
ﾒｸﾞﾛ ﾀﾛｳ

3 市外局番から電話番号を入力し（最大20桁）、

 押す

ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ?
0312345678

- まちがえたときは、（キャッチ／消去）を押す。

こんなときは

■スペースを入れるときは、英字・記号入力モードにしてから（1ア）を押す

■途中でやめるときは、（切）を押す

■電話番号に「ポーズ」を入れるときは、

手順3で を押す。（ポーズが入力され、液晶画面に「P」と表示される）
そのあと電話番号を入力するときは、そのまま続けて入力する。
ポーズを入力すると、ダイヤルとダイヤルの間で約4秒間の待ち時間ができる。

（例）構内交換機（PBX）で外線にかけるとき
0などの外線接続番号＋（ポーズ）＋電話番号

おしらせ

- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）の4件があらかじめ登録されています。（修正・消去もできます。）
- 電話帳検索時に、液晶画面に表示される順番→ を押すと下記の順番で表示されます。
  名前が未入力→スペース、記号→数字→英字→カナ
  よくかける相手を先に表示させたいときは、名前の前にスペースをつけて登録すると（例：「　サトウ」「　メグロ」…）、スペースの次の文字から50音順に表示されます。
- 電話帳に電話番号のみを登録した場合、「**名前が未入力**」として扱われます。それらが複数登録されている場合、検索時の表示順は、不定になります。（登録順には、表示されません。）
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、同一の電話番号を複数の名前で登録しないでください。正しく照合できなくなります。

発信メモリから電話帳に登録するには

1 着信メモリ・電話帳/決定・発信メモリ 押す

2 または で相手を選び、機能（戻る） 押す

3 電話帳/決定 押す

左ページの手順2から操作する

●電話番号の入力は不要。

電話帳を修正するには

1 着信メモリ・電話帳/決定・発信メモリ 押す

2 または で相手を選び、機能（戻る） 押す

3 または で“シュウセイ”を選ぶ

4 電話帳/決定 押す

左ページの手順2から操作する

電話帳を消去するには

1 または で相手を選び、機能（戻る） 押す

2 または で“ショウキョ（1ケン）”を選び、電話帳/決定 押す

●すべて消去したいときは、ここで“ショウキョ（スベテ）”を選ぶ。

3 電話帳/決定 押す

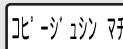
4 切 押す

電話帳を検索するには

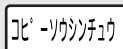
1 または で相手を選ぶ

2 終わったら、切 押す

●名前を探すときは、手順1のあとに続けてダイヤルボタンで名前の頭文字の一文字（50音の行の先頭文字）を入力する。
●英字・記号・数字を入力することはできない。

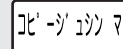
電話帳をコピーする（電話帳コピー）

（子機）

子機から他の子機に電話帳の内容をコピーすると、他の子機に同じ相手を登録する手間が省けて便利です。
親機の短縮ダイヤルの内容を子機にコピーすることはできません。

■コピーするときは、コピー先の子機をコピー元の子機の近くに持ってきてください。
■手順1のあと、約1分以内に手順2〜5の操作を行なってください。

一件ずつコピーするには

1 コピー先の子機の 機能（戻る） 押し、
▲ または ▼ で "デンワチョウコピー"を選び、
電話帳/決定 押す

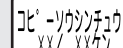
コピ゛ージ゛ュシン マチ

2 コピー元の子機の ▲ または ▼ で
コピーしたい内容を選ぶ

●上記操作のあと、0ワ 〜 9ラWXYZ で名前の頭文字を入力し ▲ または ▼ で選ぶこともできる。ただし、ダイヤルボタンに表示されている文字以外の入力はできない。

3 機能（戻る） 押し、
▲ または ▼ で "ソウシン（1ケン）"を選ぶ

4 電話帳/決定 押す

コピ゛ーソウシンチュウ

5 終わったら、切 押す

すべてコピーするには

1 コピー先の子機の 機能（戻る） 押し、
▲ または ▼ で "デンワチョウコピー"を選び、
電話帳/決定 押す

コピ゛ージ゛ュシン マチ

2 コピー元の子機の ▲ または ▼ で
電話帳の内容を表示させる

3 機能（戻る） 押し、
▲ または ▼ で "ソウシン（スベテ）"を選ぶ

4 電話帳/決定 押す

コピ゛ーソウシンチュウ
XX/ XXケン

5 終わったら、切 押す

♪ワンポイント

子機が3台以上あるときは、手順5を行なわずに、同じ内容（一件またはすべて）を別の子機に続けてコピーすることができます。別の子機で手順1を行なってから、送り手の子機で手順3から操作してください。
■ 続けて行なうときは、コピー終了後約1分以内に操作してください。

おしらせ

●すでにコピー先の電話帳に登録してある電話番号と同じ電話番号を、名前だけを変えて（あるいは追加して）コピーすることはできません。（同じ電話番号のときは、名前だけを変えてもコピーすることはできません。）
●全件コピーでは、コピー先の電話帳の登録件数とコピー元の電話帳の登録件数の合計が、100件までコピーすることができます。
●コピー中に電話がかかってきたり、内線やドアホンから呼出しが入ると、そこで電話帳コピーは中断されます。もう一度、電話帳コピーをやり直してください。
●全件コピーでは、電話帳コピーに必要な時間（データ処理時間）は、コピー元とコピー先の電話帳の登録件数により、大きく異なります。

ナンバー・ディスプレイを利用する

本機は、NTT※の に対応しています。(※NTT東日本、NTT西日本)

NTTとの契約が必要です。 お問い合わせ・お申し込みは… 局番なしの 116
受付時間:午前9時~午後9時(年末年始は休業)(2006年6月現在)

ナンバー・ディスプレイの設定をするには(下記の操作が必要です)

■ お買上げ時は「ON」に設定されています。

1 子機の 機能(戻る) 押す ▶ または で "ナンバーD" を選ぶ ▶ (電話帳/決定) 2回押す

2 または で "ON" "ON(キャッチDアリ)" "OFF" のいずれかを選ぶ ▶ (電話帳/決定) 押す ▶ (切) 押す

■ON
ナンバー・ディスプレイを利用するとき(親機の液晶画面に「iD」表示)
■ON(キャッチDアリ)
さらにキャッチホン・ディスプレイを利用するとき(親機の液晶画面に「iD」表示)
■OFF
いずれも利用しないとき(親機の液晶画面の「iD」消灯)

着信時の表示		内容
親機	子機	
03 12345678 iD	0312345678	電話番号を通知してかけてきたとき
03 12345678 iD	ﾒｸﾞﾛ ﾀﾛｳ 0312345678	本機の電話帳機能に登録した番号から、電話番号を通知してかけてきたとき ※電話帳登録時、電話番号以外の数字(✱、# 、ポーズを含む)を登録すると、名前がでない場合があります。
----P---- iD	ﾋﾂｳﾁ	電話番号を通知しないでかけてきたとき
----C---- iD	ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ	公衆電話からかかってきたとき ※公衆電話から「184」をつけてかけてきた場合は、「非通知」になります。
----O---- iD	ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ	海外、新幹線電話、船舶電話などのナンバー・ディスプレイを利用できない回線からかかってきたとき
--Error-- iD	ｼﾞｭｼﾝｴﾗｰ	回線の状態が悪い場合などで、ナンバー・ディスプレイのデータを正常に受信できなかったとき
CALL iD	ﾁｬｸｼﾝ	ナンバー・ディスプレイ回線になっていないときや、番号情報が送られて来なかったとき

- ISDN回線のターミナルアダプター、構内交換機(PBX)、ホームテレホン、他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが利用できないことがあります。くわしくは、接続機器のメーカーへお問い合わせください。
- 1本の電話回線で2台以上、電話機などの端末機器を接続すると、ナンバー・ディスプレイの機能が動作しないことがあります。2台以上接続する場合は、どちらかの設定を解除するか、接続を1台にしてください。
- ADSL回線やひかり回線を利用したIP電話サービスなどをご利用の場合、機器の接続や設定によりナンバー・ディスプレイの機能が動作しないことがあります。くわしくは、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、キャッチホン着信時に「ピポ」という音が聞こえ、最大約3秒程度通話がとぎれます。なお、保留中や留守応答中、各ガード動作中などにキャッチホンで割り込んできた場合は、キャッチホン・ディスプレイ表示は出ません。

着信メモリ

相手の番号と日時を親機と子機の両方に最大30件まで自動的に記録します。あとで見たり、電話をかけたり、親機の短縮ダイヤルや子機の電話帳、特定番号ガードの特定番号に登録できます。

親機で着信メモリを確認する／かけ直す

1 発信/着信メモリ 2回押す ▶ トーン/▲ または ▼/ガード で、電話番号を確認する ▶ かけ直すには受話器をとる

- 過去の履歴を確認するときは ▼/ガード、新しい履歴を確認するときは トーン/▲ を押す。
- 機能 を押すと着信日時の表示に切りかわる。もう一度押すと、元の表示に戻る。
- 確認を終わるときは 再生/停止 を押す。

短縮ダイヤルに登録する

2 短縮 押して 機能 押す

- 未登録の短縮番号を自動的に割り当てる。他の短縮番号に登録したいときは トーン/▲ または ▼/ガード を押して選ぶ。

着信メモリを消去する

2 キャッチ/消去 押す

- 液晶画面の電話番号が点滅する。

3 キャッチ/消去 押して 再生/停止 押す

着信メモリをすべて消去する

2 発信/着信メモリ 2秒以上押す

■ 着信メモリをすべて消去すると、発信メモリもすべて消去される。

ナンバー・ディスプレイ

子機で着信メモリを確認する／かけ直す

1 着信メモリ 押す ▶ ▲ または ▼ で、電話番号を確認する ▶ かけ直すには 押す

- 過去の履歴を確認するときは ▼ 、新しい履歴を確認するときは ▲ を押す。
- 電話帳に登録した相手からの場合は名前表示する。
  # 記号 を押すと番号表示に切りかわる。もう一度押すと、元の表示に戻る。
- キャッチホン・ディスプレイ利用時、キャッチホンで割り込んできた着信のときは日時の間に「✻」を表示する。
- 確認を終わるときは 切 を押す。

電話帳に登録する

2 機能 戻る 押して 電話帳/決定 押す

3 54ページの手順2から操作する

特定番号ガードに登録する

2 機能 戻る 押す

3 ▲ または ▼ で "ガードトウロク"を選び、電話帳/決定 2回押す

着信メモリを消去する

2 機能 戻る 押す

3 ▲ または ▼ で "ショウキョ（1ケン）"を選び、電話帳/決定 2回押して 切 押す

- すべて消去したいときは、"ショウキョ（スベテ）"を選ぶ。

おしらせ

- 必ずナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- 「----P----」「ヒツウチ」「----C----」「コウシュウデンワ」「----O----」「ヒョウジケンガイ」「--Error--」「ジュシンエラー」も、着信情報として記録されますが、「CALL」「チャクシン」で呼出音が鳴った場合は記録されません。
- 特定番号ガードでガードした着信の場合は「▮トクテイガード▮」と表示されます。また、このとき # ガード 記号 を押すと、電話番号を表示します。

鳴り分けを使う

短縮ダイヤルや電話帳に登録した電話番号からかかってきたときの呼出音を設定することができます。親機は短縮ダイヤルに登録した電話番号とそうでない電話番号で変えることができます。子機は「電話番号ごとに」設定することができます。

親機で鳴り分けを設定するには

1 機能 押す

2 ② 押す

3 ① 押す

- 鳴り分けが設定されているときは、現在設定されている呼出音が流れる。

4 呼出音の番号を押して、設定したい呼出音（↓）を選ぶ

●呼出音の種類（6種類）

押すボタン	呼出音	音色
	OFF　※お買い上げ時	
①	ベル1<低音>	単音
②	ベル1<標準>	
③	ベル1<高音>	
④	効果音1<ピロロ>	
⑤	森のくまさん	3和音
⑥	ラデツキー行進曲	

5 機能 押す

■解除するときは、手順3で ② を押す。

子機で鳴り分けを設定するには

1 ▲または▼で設定したい名前(番号)を表示させる

2 機能/戻る 押し、▲または▼で“ナリワケ”を選ぶ

3 電話帳/決定 押す

- 鳴り分けが設定されているときは、現在設定されている呼出音が流れる。

4 ▲または▼で設定したい呼出音（↓）を選ぶ

●呼出音の種類（10種類）

呼出音	音色
OFF　※お買い上げ時	
ベル1<低音>	単音
ベル1<標準>	
ベル1<高音>	
効果音1<ピロロ>	
効果音2	3和音
春～四季より～	
森のくまさん	
華麗なる大円舞曲	
ラデツキー行進曲	
花のワルツ	

5 電話帳/決定 押す

6 切 押す

■解除するときは、手順4で“OFF”を選ぶ。

ナンバー・ディスプレイ

- 必ずナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- 短縮ダイヤルや電話帳に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。
- キャッチホン・ディスプレイ利用時でも、キャッチホンで割り込んで着信したときは鳴り分けははたらきません。

かかってきたときにガードする

呼出音が鳴っているときに、ガードボタンを使って、その電話に限りガードすることができます。

親機や子機でかかってきた電話をガードするには

（親機）　（子機）

1 呼出音が鳴っているときに、

2

押す　（ガード・# 記号）押す

- 「----P----」「ヒツウチ」「----C----」「コウシュウデンワ」「----O----」「ヒョウジケンガイ」のときは、それぞれのガード設定時と同じ方法で応答します。番号通知のときは特定番号ガードと同じ方法で応答します。（63ページ）
- 「--Error--」「ジュシンエラー」「CALL」「チャクシン」で呼出音が鳴ったときは、ガード機能ははたらきません。
- キャッチホン・ディスプレイ利用時でも、キャッチホンで割り込んで着信したときは、ガード機能ははたらきません。

着信の種類に合わせてガードする

非通知でかけてきた電話、公衆電話、表示圏外からかけてきた電話などに、電話機が自動で着信して応答します。応答中は、呼出音やスピーカーからの音は出ずに、応答後は電話が自動的に切れます。（設定は子機で行ないます。）

非通知ガードを設定する	公衆電話ガードを設定する	表示圏外ガードを設定する

1 子機の 機能（戻る） 押す ▶ または で“ナンバーD”を選ぶ ▶ 電話帳/決定 押す

●特定番号ガードを設定するには62ページへ

非通知ガード	公衆電話ガード	表示圏外ガード
2 または で“ヒツウチガード”を選び、電話帳/決定 2回押す	**2** または で“コウシュウガード”を選び、電話帳/決定 2回押す	**2** または で“ケンガイガード”を選び、電話帳/決定 2回押す

3 または で“ON”を選び、電話帳/決定 押す ▶ 切 押す

●液晶画面の表示について（例）

ガード設定中	ガード 特定 公衆 非通知 圏外 ● 設定されている機能名が枠内に表示されます。
ガード応答中	（例）“非通知ガード”のとき ----P---- ガード 非通知 iD 応答している機能名だけが点滅します。

■ さらにこの電話機では…
非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガードそれぞれの応答方法を3種類から選べます。
（63ページ）

おしらせ

- 必ずナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- かけてきた相手には、通話料金がかかります。
- キャッチホン・ディスプレイ利用時でも、キャッチホンで割り込んで着信したときはガード機能ははたらきません。
- ガード機能で応答した直後に電話をかけようとすると、ガードした相手とつながる場合があります。

特定番号からの電話をガードする（特定番号ガード）

特定の電話番号を「特定番号ガード」に登録（最大30件）すると、その番号から電話がかかってきた場合に、電話機が自動で着信して応答します。（登録は子機で行ないます。）

特定番号ガードを登録するには

1 子機の 機能（戻る） 押す ▶ 上 または 下 で“ナンバーD”を選ぶ ▶ 電話帳/決定 押す

2 上 または 下 で“トクテイガード”を選び、電話帳/決定 2回押す

3 ガードしたい電話番号をダイヤルボタンで入力し、電話帳/決定 押す

4 切 押す

■ 着信メモリから登録することもできる。(58ページ)

登録した番号を確認／消去するには

1 子機の 機能（戻る） 押す ▶ 上 または 下 で“ナンバーD”を選ぶ ▶ 電話帳/決定 押す

2 上 または 下 で“トクテイガード”を選び、電話帳/決定 押す

3 上 または 下 で“カクニン”を選び、電話帳/決定 押す

4 上 または 下 を押して、入力した番号を確認または消去したい番号を選ぶ
- ●確認を終わるときは 切 を押す。

5 キャッチ（消去） 押す

6 電話帳/決定 押す

7 切 押す

●液晶画面の表示について（例）

ガード設定中	ガード 特定 ● 「特定」と表示されます。
ガード応答中	（例）特定番号“0312345678”からかかってきたとき 03 12345678 ガード 特定 点滅します。

● その他のガード機能が設定されているときは、そのガード機能の機能名が点灯します。

■ **さらにこの電話機では…**応答方法を3種類から選べます。（63ページ）

おしらせ
- ●必ずナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- ●かけてきた相手には、通話料金がかかります。
- ●応答中は、呼出音やスピーカーからの音は出ずに、応答後は電話が自動的に切れます。
- ●キャッチホン・ディスプレイ利用時でも、キャッチホンで割り込んで着信したときはガード機能ははたらきません。
- ●ガード機能で応答した直後に電話をかけようとすると、ガードした相手とつながる場合があります。

各ガードの応答方法を選ぶ

非通知ガード、公衆電話ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードの応答方法を、3種類の中から選べます。

非通知ガード・公衆電話ガード・表示圏外ガード・特定番号ガードの応答方法を設定する

1 子機の 機能（戻る） 押す ▶ または で"ナンバーD"を選ぶ ▶ （電話帳/決定） 押す

2 または で応答方法を変更するガードの種類を選ぶ ▶ （電話帳/決定） 押す ▶ または で"オウトウ　ホウホウ"を選ぶ ▶ （電話帳/決定） 押す

- 例えば、非通知ガードの応答方法を変更するときは、"ヒツウチガード"を選ぶ。

3 または で"メッセージ1""メッセージ2""ルス　ロクオン"のいずれかを選ぶ ▶ （電話帳/決定） 押す ▶ （切） 押す

●応答方法の種類と相手に流れるメッセージ

	非通知ガード	公衆電話ガード／表示圏外ガード	特定番号ガード
メッセージ1	おそれ入りますが電話番号の前に186をつけてダイヤルするか、番号を通知できる電話からおかけ直しください。	おそれ入りますが、番号を通知できる電話からおかけ直しください。	申し訳ありませんが、こちらの都合により、電話をおつなぎすることができません。
メッセージ2	ただいま留守にしております。おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。		
ルスロクオン（留守録音）	ガード対象の電話からかかってくると、留守番電話で応答し、用件を録音します。（このときモニターからの音声は出ません。） ※録音残量がない場合は、応答専用メッセージ（48ページ）で応答します。 ※応答中に受話器をとる（子機は「発信ボタン」を押す）と、電話がつながりますので注意してください。		

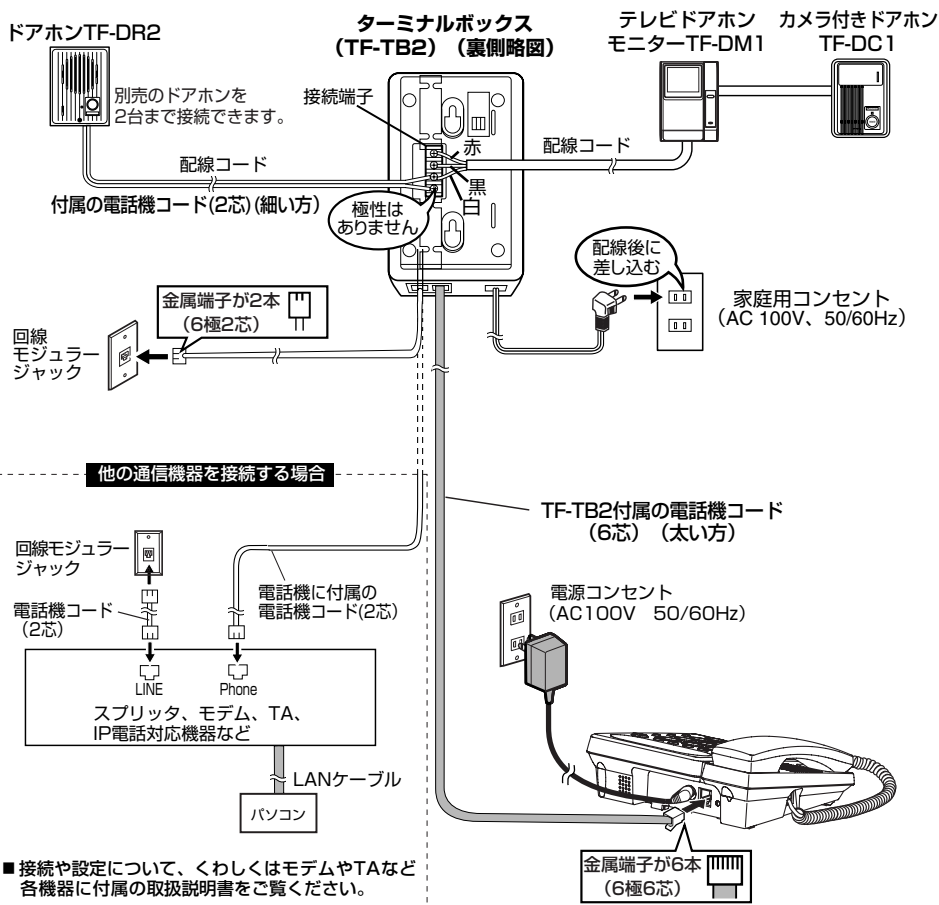
■ お買い上げ時は、応答メッセージは「メッセージ1」に設定されている。
■ 応答中は、呼出音やスピーカー音は出ない。

ドアホンを接続する

別売のドアホンとターミナルボックスが必要です。

- ドアホンの取り付けについて、くわしくは、ターミナルボックスの取扱説明書をご覧になり、販売店または工事店にご相談ください。（他社製のターミナルボックスはご使用になれません。ターミナルボックスは、必ずTF―TB2をご使用ください。※1）
- カメラ付きドアホンをお使いの場合は、テレビドアホンモニターも必要となります。
- ドアホンの接続工事が終わったら、最後に電源を接続し、ドアホンの呼出しボタンを押して、親機または子機が「ピポピポ」と鳴ることを確認してください。

※1…現在パイオニアのターミナルボックス（TF-TB1）をお使いのお客様へ
- テレビドアホンは、ご使用になれません。ドアホン（TF-DR2またはTF-DR1）のみご使用が可能です。

ドアホンの接続例（ドアホン1台とカメラ付きドアホン1台を接続する場合）

■6芯コードは、必ずTF－TB2に付属の電話機コードを使用してください。他のコードを使用すると、故障の原因になります。

ドアホン通話をする

来客があると

親機でドアホンに応答するには

1 呼出音が鳴る

2 受話器をとり、来客と話す

3 終わったら、受話器を戻す

子機でドアホンに応答するには

1 呼出音が鳴る

2 充電器から子機をとり、来客と話す
（充電器上にないときは 押す）

3 終わったら、切 押す

■外線通話中、留守応答中、ガード機能で応答中は、ドアホンに応答できない。

本機からドアホンに呼びかけたいとき

あらかじめ、ドアホンの内線番号は「9」に設定されています。

■親機で話すには

1. 内線/保留 押す
2. 受話器をとる
3. ドアホンの内線番号 9 押し、呼びかける
4. ドアホン1につながる

■子機で話すには

1. 文字 内線/保留 押す
2. ドアホンの内線番号 9ラ WXYZ 押し、呼びかける
3. ドアホン1につながる

ドアホン通話中に外から電話がかかってきたとき（呼出音が聞こえたとき）

ドアホン通話が自動的に終了します。

■親機で話すには

1. 一度、受話器を戻す
2. 再度、受話器をとる（外の相手と話せる）

■子機で話すには

 押す（外の相手と話せる）

おしらせ

- ドアホン1とつながったあと、ドアホン2と話すときは、②（親機）または 2カ ABC（子機）を押します。再び ①（親機）または 1ア（子機）を押すと、もとの通話に戻ります。（ダイヤル①または②を押すたびに切りかわります。）
- ドアホンにハンズフリーで応答することはできません。
- ドアホンの呼出音が鳴っているときに親機で応答し、すぐに受話器を戻すと、ドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。（故障ではありません。）
- ドアホンと子機と親機（または他の子機）で三者通話はできません。

ドアホン通話をする（つづき）

外線または内線通話中にドアホンが鳴ったら

親機でドアホンに応答するには

1 通話中に呼出音が鳴る

2 受話器を戻す

●通話が切れる

3 再び呼出音が鳴る

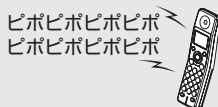
4 受話器をとり、来客と話す

子機でドアホンに応答するには

1 通話中に呼出音が鳴る

2 切 押す

●通話が切れる

3 再び呼出音が鳴る

4 押し、来客と話す

外線通話を保留中にドアホンの呼出音が鳴ったら

外線通話を保留したままドアホンと話すことはできません。
保留を解除し、外線通話を終了してからドアホンと話すことができます。

■親機で話すには

1. 内線/保留 押して受話器を戻す
2. 再び呼出音が鳴ったら受話器をとる

■子機で話すには

1. 文字 内線/保留 押して充電器に戻す
2. 再び呼出音が鳴ったら子機をとる

おしらせ

●ドアホンと子機と親機（または他の子機）で三者通話はできません。

内線呼出中に、ドアホンから呼出があると

内線呼出が、自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。親機は受話器をとってドアホンにでてください。子機は を押してドアホンにでてください。

■ 外線通話中および内線通話中にドアホンの呼出音が鳴った場合、呼出音が鳴っている間（数秒間）は、通話が中断されます。

内線の一斉呼出中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

一斉呼出が自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。
親機で一斉呼出をしていたときは、受話器をとってドアホンにでてください。

子機で一斉呼出をしていたときは、 を押してドアホンにでてください。

一斉呼出を利用して外からの電話をまわしているとき（内線呼出中）に、ドアホンの呼出しがあったら

一斉呼出を続けます。このとき、ドアホンの呼出音は鳴りません。

ドアホンの呼出しから約30秒以内に、受け手の子機（または親機）が電話にでた場合は、親機または受け手以外のすべての子機で、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。外線通話を終わらせると、ドアホンと通話することができます。

外からの電話を保留中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

保留を解除し（34ページ）、外からの通話を終わらせると、ドアホンと通話することができます。

外からの電話と三者通話中に、ドアホンの呼出音が鳴ったら

すべての子機および親機でドアホンの呼出音が聞こえますが、そのままでは通話できません。
外線通話を終わらせると、ドアホンと通話することができます。（66ページ）

現在お使いのドアホンが下記の種類の場合は、専用ドアホン（TF-DR2）をお求めにならなくてもお使いいただけます。
カメラ付きドアホンは、専用のもの（TF—DC1）以外は、ご使用になれません。

メーカー名	適合するドアホン
パイオニア	TF-DR1
アイホン	IF-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IE-JEX IE-NXUS
神田	KB-1A KB-4
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松下通信	VL-568KA VL-568U VL-568R VL-568UL VL-568KAP VL-568S VL-580D VL-D568KF VL-581D VL-592 VL-593 VL-594A
松下電工	EJ502 EJ501W EJ102 EJ503F EJ503A EJ1021B EJ106S EJ106A

■接続可能なドアホンは、配線が2線無極性でインピーダンス600Ωに限ります。

専用商品の型番

	型　番	希望小売価格
専用ドアホン	TF-DR2	4,200円（税抜価格　4,000円）
専用カメラ付きドアホン	TF-DC1	18,900円（税抜価格 18,000円）
専用テレビドアホンモニター	TF-DM1	44,100円（税抜価格 42,000円）
専用ターミナルボックス	TF-TB2	11,550円（税抜価格 11,000円）
テレビドアホンセット（TF-DC1＋TF-DM1＋TF-TB2）	TF-TS1	71,400円（税抜価格 68,000円）

（希望小売価格は平成18年6月現在の価格です。）

ドアホン

停電のときは

停電中や親機のACアダプターが外れたときは・・・

親　機	**受話器で電話をかけたり受けたりすることはできますが、その他の機能は使えません。** ●ナンバー・ディスプレイを契約している場合 ①ナンバー・ディスプレイは利用できません。 ②電話がかかってくると、短い呼出音が鳴ります。このときは電話に出られません。(出ると電話が切れます) 呼出音が変わってから受話器をとってください。 ● 通常起こりうる停電などの使用状態では問題ありませんが、むやみに電源を入れたり、切ったりしていると電池の消耗や寿命に影響し、停電時の動作が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
子　機	**電話機能は使えません。** ● 通話中に停電すると、通話は切れます。続いて「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…、ピピピ」音が鳴り、通常状態に戻ります。

■ **日付・時刻の設定について**

約1時間は保持されます。

→約1時間後に「初期値」(2006年1月1日午前0時）に戻ります。再度、日付・時刻を設定してください。(17ページ)

■ **留守番電話の用件再生中や、外線リモコン操作中に停電したとき**

→再生は停止します。外線リモコン操作中の場合、電話が切れます。

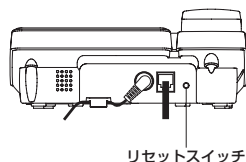
■ **短縮ダイヤルや電話帳に登録した内容・留守設定や用件録音の内容・各種設定について**

- 登録内容・各種設定は、停電復旧後も保持されます。
- 子機の液晶画面に「ツウワ　ケンガイ」(または「オヤキ　サーチチュウ」)と「圏外」が表示されているときは、（通話）、文字 内線/保留、または ハンズフリー のいずれかを押してください。

リセットについて

ボタン操作を受けつけなくなった場合（強い外来ノイズや静電気、落雷を受けたときなど）や、「故障かな？と思ったら」（72～79ページ）の処置を行なっても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。

親機のリセット方法

ACアダプターを差し込んだ状態で、つまようじなどの細い棒を穴に差し、リセットスイッチを押す。

●親機のリセットを行なうと・・・

設定、録音したもの、登録した内容は保持されます。

子機のリセット方法

充電池ぶたをあけ、充電池のプラグを抜き差ししてください。（70ページ）

なお、充電池を交換したとき（70ページ）も下記の状態になります。

●子機のリセットを行なうと・・・

設定がお買い上げ時の状態に戻るもの

●現在日時　●液晶コントラスト

上記以外の設定、登録した内容は保持されます。

本機は、自己診断機能を搭載しております。この機能により、「本機が異常状態にある」と判断された場合は、自動的にリセット機能がはたらきます。（リセットボタンを押したときと、同じ状態になります。）

仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

型　番	TF-VD1100･VD1130･VD1140
使用周波数	2.4～2.4835GHz全帯域
変調方式	FH-SS方式
ダイヤル方式	ダイヤル回線：DP信号（10PPS／20PPS） プッシュ回線：PB信号
電　源	親　機：専用ACアダプター（VT-14） 子　機：専用充電池（型番：TF-BT10） 充電器：専用ACアダプター（VT-16）
充電完了時間	約10時間
使用時間	子　機　待ち受け時間：約180時間 連続通話時間：約6時間
消費電力	親　機　動作時最大：約3.2W 留守待機時：約2.7W 充電器　子機充電時：約1.8W （待機時）
直流抵抗	約280Ω
静電容量	約0.85μF
録音時間	応答メッセージ・用件などを含め約10分以内
用件録音時間	1件につき5分以内
寸　法 （幅×高さ×奥行）	親　機：約163×69×155mm （突起部含まず） 子　機：約45×166×35mm 充電器：約83×44×77mm
質　量	親　機：約500g 子　機：約140g（充電池を含む） 充電器：約65g

お手入れ

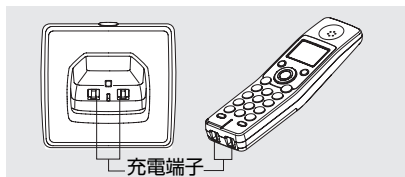
注意

●お手入れの際は、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因になることがあります。

本体・コード類

柔らかい、乾いた布でから拭きしてください。
ぬれたぞうきんは使用しないでください。
ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。またアルコール類や洗剤などは本体を傷める場合がありますので使用しないでください。
化学ぞうきんをお使いになるときは、化学ぞうきんに添付の注意書をよくお読みください。

子機・充電器

柔らかい、乾いた布でから拭きしてください。
ぬれたぞうきんは使用しないでください。
充電端子が汚れていると 発信ランプが緑点灯していても充電ができないことがあります。
充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。

充電端子が汚れていると子機を充電器に戻しても通話が切れない原因になります。
また、充電ができないために、通話中に突然切れるなど使用時間が短くなります。

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		＃○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	＃⑥
	全消去	＃㊡

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		＃○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	＃⑥
	全消去	＃㊡

リモコン早見表

種　類		操作番号
用件再生		＃○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	＃⑥
	全消去	＃㊡

リモコン早見表

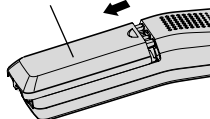
種　類		操作番号
用件再生		＃○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守番解除／設定	＃⑥
	全消去	＃㊡

充電池（ニッケル水素電池）を交換する

子機の専用充電池（ニッケル水素電池）は消耗品です。

充分に充電しても、少し話すとすぐに通話ができなくなるときは、新しい充電池と交換してください。

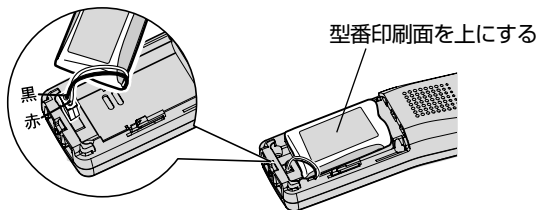
1 充電池ぶたを開ける

充電池ぶた
（スライド式）

2 新しい充電池を入れて充電する（18ページ）
→ 発信ランプが緑点灯します。

型番印刷面を上にする

黒

赤

お願い

- 必ず指定の充電池（別売品／型番：TF-BT10（ニッケル水素電池）、電圧：3.6（V）をお使いください。
- 充電端子が汚れていると、充分に充電しても、少し話すとすぐに通話ができなくなったり、まったく通話や操作ができなくなることがあります。充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。
- 充電池のコードを無理に引っ張らないでください。
- 必要のない限り、プラグの抜き差しは行なわないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。
- 充電しても液晶画面に何も表示されないときや、発信ランプが緑点灯しないときは、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。

⚠ 危険

- 充電池は加熱したり、火中に投げ込まないでください。爆発して火災・けがの原因となることがあります。
- 充電池の端子をショート（短絡）したり、外装チューブをはがしたりしないでください。火災・けがの原因となることがあります。
- 専用の充電池以外は、使用しないでください。火災・故障の原因となります。
- 充電するときは、専用の充電器をお使いください。

子機を増やす（増設子機の登録操作）

子機を増設することができます。

■ 増設できる子機の台数は、付属子機を含めて最大4台です。（付属子機には、増設子機の登録操作は必要ありません。）
■ 登録には、増設子機の他に、親機と親機のACアダプターが必要です。
■ 登録方法について、くわしくは、増設子機に付属の「子機を増やすには」（増設子機の登録方法）をご覧ください。
■ 登録した子機の使用をやめるときは、下記の「増設のリセット」を行なってください。

親機に登録するには

■ 親機の操作後、約30秒以内で子機を操作してください。

1 親機の 機能 押して 4 押す

2 機能 押す

●通常状態の液晶画面（13ページ）に変わり 増 が約30秒間点滅し続ける。

3 子機の 機能/戻る 押し、

または で “コキゾウセツ” を選び、

電話帳/決定 押す

4 電話帳/決定 押す

■ 増設子機が複数ある場合は、子機を1台増設するごとに手順1から4の操作をする。

増設のリセット

■ あらかじめ、親機とすべての子機が通電していること、登録されているすべての子機が通話圏内にあることを確認してください。

1 親機の 機能 押して 4 押す

PUSH Func

2 キャッチ/消去 2秒以上押し続ける

dEL

3 機能 押す

■ 増設のリセットを行なったあとは、必ず1台以上、子機を登録して使用する。（登録しない場合、ドアホンに呼びかける機能などが、利用できなくなる。）

ご注意

●登録を終了したら、内線通話（38～39ページ）をして、子機の登録ができたことを確認してください。
●登録操作を間違えたときや時間内に子機の登録操作が完了しなかったとき、外来ノイズおよび電波の影響などで登録に失敗したときは、親機の液晶画面の 増 が消えたことを確認し（約30秒間で消えます。）、「親機に登録するには」の手順1からやり直してください。
●親機の操作を行なわずに子機の操作を行なったときは、「コキ　ゾウセツチュウ」と表示され、子機の操作ができなくなります。約30秒経過すると、通常状態に戻ります。
●増設子機の登録および増設のリセットの操作中は、他の子機を使用しないでください。
●「親機に登録するには」の操作を行なった場合、子機の名称がお買い上げ時の名称（「コキ（1)」「コキ（2)」…）に戻ります。必要に応じて、名称を登録し直してください。（19ページ）
●子機の名称などが、増設中の外来ノイズなどで正常に表示しない場合があります。お買い上げ時の状態に戻らないときは、再度、増設子機の登録操作を行なってください。また、必要に応じてすべての子機の増設登録操作を行なってください。
●増設子機の登録をすると、若い子機番号から順に、自動付与されます。

故障かな？と思ったら

ボタン操作を受付けない場合、または以下の処置をしても正常に動作しない場合は、リセット操作をしてください。(68ページ)
リセットで回復しないとき、**ACアダプターを抜いておくと親機で応急的に電話をかけたり受けたりすることができる場合があります。**

	症　状	原因と処置
電話をかけたり、受けたりできない	受話器をとっても「ツー」という音が聞こえない	●電話機コードと受話器コードの差し込みが、カチッと音がするまで確実に接続されているか確認してください。 ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●ホームテレホンなどに接続すると、故障などの原因となる場合があります。事前にホームテレホンのメーカー、または設置業者にお問い合わせください。 ●ADSLやISDNをご利用の場合、モデムやTAの接続・設定をご確認ください。 ➡くわしくは、ご利用の電話会社（またはモデムやTAのメーカー）などにご相談ください。 ●ファクシミリや他の機器などに接続のとき、その機器の接続や設定などが原因となる場合があります。原因と思われる機器のメーカーなどにご相談ください。 ➡【他の機器：セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、地上波デジタル用チューナー、CAT（キャットというカード読取機）など】
	電話をかけることができない	●回線種別（プッシュ／ダイヤル）を正しく設定してください。（20ページ） ➡ＩＰ電話をご利用の場合、フリーダイヤルなどの一部につながらないときは、NTTにご契約の回線種別に合わせてください。 ➡ＩＰ電話をご利用の場合、0120、0570、0990ではじまる番号や局番の頭に0000、186、184、122などをつけたり、110、119、177、117などの番号にかけてつながらないときは、NTTにご契約の回線種別に合わせてください。 ➡ISDN回線をご利用の場合は、プッシュに設定してください。 ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●以下の場合は携帯通話プリセット機能を「OFF」（解除）にしてください。または、「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してからダイヤルしてください。 ➡・ひかり電話や直収電話サービス（NTT東日本・西日本を除く）をご利用の場合 ・PBXをご利用の場合、0（ゼロ）発信しても「ツー」という音が聞こえない ・ＩＰ電話をご利用の場合（ＩＰ電話の発信を優先させる場合） ●ISDN回線で電話機のダイヤル信号をTAが正しく認識しない場合があります。くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。 ➡その場合「おかけになった電話番号は現在使われておりません」などの音声が流れて相手につながらないことがあります。
	電話をかけると違う相手とつながる	●前の相手との通話が終わり電話を切ったら、少し時間をおいてもう一度かけ直してください。
	電話をかけたとき相手につながるまで時間がかかる	●相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合、つながるまでに時間がかかることがあります。 ●携帯通話プリセット機能（28～33ページ）がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押してもしばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは事業者識別番号の付与判断を行なっているためです。故障ではありません。

症　状		原因と処置
電話をかけたり、受けたりできない（つづき）	電話に出ると時々切れたり、つながらないことがある	●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は「ON」に設定してください。（57ページ） ➡ナンバー・ディスプレイの回線で電話機の設定を「OFF」にしていると、かかってきた電話にでたとき「ジャー」という音が聞こえ、電話が切れてしまう場合があります。電話をかけてきた相手には、「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえ、電話がつながらない状態になります。 ➡INSナンバー・ディスプレイをご利用で電話機の設定を「OFF」にしていると、外から自宅に電話をかけたとき「…おかけになった電話番号には、お客様と通信できる機器が接続されていないか、または故障中と思われます。」とガイダンスが流れます。
	呼出音が1～2回鳴って切れる	●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●同じ回線で使用しているファクシミリ、モデム、ガス自動検針器、その他の通信機器が影響している場合があります。通信機器を外して症状がなくなる場合、原因と思われる通信機器のメーカーにお問い合わせください。 ●NTTの転送サービスをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」（解除）にしてください。(57ページ) ➡転送サービスとナンバー・ディスプレイの併用はできません。くわしくは、NTT窓口(お客様サービス116番)へお問い合わせください。
	呼出音が鳴らない	●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●ファクシミリやISDN／ADSL機器などに接続している場合、それらの機器の設定や動作が原因で呼出音が鳴らないことがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用サービスの会社にご相談ください。 ●親機の液晶画面にガードの表示（ガード：非通知、公衆電話、表示圏外、特定番号）があるときは、原因となる不要なガードを解除してください。 ●消音を設定した親機や子機の呼出音は鳴りません。（子機で夜間呼出音量を消音に設定している場合も同様です。）消音を解除してください。（23・25ページ）
	呼出音の鳴り出しが遅い	●TAに接続して、ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、TAと電話機との通信の相互作用で多少遅くなる場合があります。
	呼出音の鳴り方が変わった	●親機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。 ➡外れていると親機の呼出音が小さく鈴虫のように鳴り、子機の呼出音は鳴りません。 ●夜間呼出音量を設定（25ページ）していると、設定時刻になると呼出音の音量が変わります。 ●ナンバー・ディスプレイの回線では電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「ON」にしてください。 ➡「OFF」のときは、呼出音が最初短く鳴り、約5秒くらいで通常の呼出音に変わります。 ●鳴り分けが設定されている相手と、そうでない相手では、呼出音の鳴り方が異なります。鳴り分けが不要な場合は解除してください。（59ページ）

症　状			原因と処置
通話中の症状	通話の音声がとぎれたり割れたりして聞きとりにくい		●スプリッタ・TA設定を「ON」にしてご使用ください。（86ページ） ➡事務所など騒音の大きい場合や電話回線の事情により声が反響する場合、聞きとりにくいことがあります。
	子機	ハンズフリー通話のとき、音声がとぎれたり割れたりして聞きとりにくい	●相手の話が終わったところで話すようにしてください。 ➡相手と同時に話をすると会話の頭がとぎれやすくなります。 ●静かな場所でご利用ください。 ➡周りの音（相手側、またはこちら側）が大きい場合、声がとぎれやすくなります。 ●口もとからマイクまでの距離は約50cmを目安にしてください。 ➡近すぎると、声が割れて相手に聞きとりにくくなります。
	通話に雑音や異音が聞こえる		●ご契約の電話会社（NTTの場合、故障受付113番など）にお問い合わせください。 ➡親機と子機間の内線通話には雑音が入らない場合は電話機以外の要因と考えられます。
	通話時に雑音が入る		●雑音の原因となる他の機器から電話機を離して設置してください。 ➡他の電気製品、ACアダプター、充電器、モデム、TAなどの近くに電話機を設置すると、雑音が入ることがあります。
	異音が聞こえる		●ダイヤル回線をご利用の場合、ダイヤルすると「プツプツ・・」という音が聞こえます。故障ではありません。 ●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、キャッチホンが入ると「ピポ」と聞こえ、電話番号データを受信するために数秒ほど無音の状態になります。
	通話が反響して相手の声が聞きとりにくい		●スプリッタ・TA設定を「ON」にしてください。（86ページ） 改善しない場合は、ご利用の電話会社などにご相談ください。 ●ファクシミリやISDN／ADSL機器などに接続している場合、それらの機器が原因で反響することがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用の電話会社などにご相談ください。

（親機）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり受けたりできない	保留や留守番などの機能が使えない	●親機の画面の表示がない場合は、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
	画面に「ーーーーーーーーー」を表示して使えない	●中継機器（ホームテレホン、ビジネスホン、構内交換機（PBX））などの原因で、表示される場合があります。必要以上の電流などにより、故障・発熱・火災の原因となることがあります。 ➡接続の前に、必ず中継機器のメーカーまたは設置業者へご相談ください。
	画面が一瞬消えるときがある	●液晶の表示をすべて、再度、表示し直しています。故障ではありません。
	「ピピピ・・・」と鳴り発信できない	●子機が回線使用中のときは、親機から電話をかけることは出来ません。（" LINE IN USE "と表示されます。）受話器を戻し、子機の使用が終わってからかけ直してください。
	壁掛けにすると受話器が滑り落ちる	●親機の受話器をひっかけるために、フックのツメを出すように差しかえてください。（17ページ）

（子機）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり受けたりできない	ボタン／ランプが反応／点灯しない	●親機の画面の表示がない場合は、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。 ●親機と子機のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。なお、停電など親機の電源が切れているときは、ご使用になれません。 ● 充電器と子機の充電端子を乾いた布や綿棒などできれいに拭いて10時間以上充電してください。充電容量が少ないとき、10分くらいは発信ランプが点灯しません。 ●数週間充電をしないで放置された場合、充電器上に10時間以上置いても 発信ランプが点灯しないことがあります。新しい充電池に交換してください。（70ページ） ●充電池（ニッケル水素電池）を外して入れ直しを行なってください。
	画面に「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」を表示して使えない	●親機のACアダプターの接続をご確認ください。停電など電源の切れているとき、子機はご使用になれません。 ●設置環境などノイズの影響で発生するケースは、故障ではありません。再度、発信ボタンを押すか親機をご使用ください。原因となる電気機器（携帯電話の充電器、ファクシミリ、ISDN／ADSL機器、AV／OA機器など）から親機や子機を離すことで軽減します。
	充電ができない、通話が切れる	●子機のACアダプターの接続をご確認ください。 ● 発信ランプが点灯するまで10分程度かかることがあります。 ➡約10分たっても点灯しない場合は、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。
	充電器に置いても、液晶画面に何も表示されなかったり、発信ランプが消えている	●充電端子は乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。 ●数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなる場合があります。 ➡新しい充電池に交換してください。

（子機）

	症　状	原因と処置
電話をかけたり受けたりできない（つづき）	発信ランプが点灯のまま変わらない	●充電が完了しても 発信ランプは点灯のまま変わりません。 ➡充電器上では子機が多少あたたかくなりますが異常ではありません。充電し続けても故障することはありません。
	充電器からとっても 発信ボタンを押さないと通話状態にならない	●子機のACアダプターの接続をご確認ください。 ●充電器と子機の充電端子を乾いた布や綿棒などできれいに拭いてください。 ●クイック通話を解除している場合は設定してください。（86ページ）
	通話中に切れる	●子機の充電池が消耗している場合は充電端子を拭いて10時間以上充電してください。それでも短いときは新しい充電池に交換してください。(70ページ) ➡充電池交換の目安は1年くらいですが、短い時間の通話と充電を繰り返した場合、使用開始の間もない新しい充電池であっても、一時的に充電容量が少なくなります。この場合は数日間充電をやめ、いったん充電池を使いきること（ボタンを押しても反応がない状態）で解消します。あらためて10時間以上充電してご使用ください。
	通話がひびく、とぎれる、雑音が聞こえる	●親機から離れすぎた場合など、声がとぎれたらすみやかに親機に近づいてください。 ●2.4GHzの電波を使用する機器（無線LAN、ルーター、AV機器・防犯機器など）から親機や子機を3m以上離してください。 ●電子レンジから親機や子機を3m以上離してください。 ●1つの事務所内（部屋内）にデジタルコードレスホンを複数設置しないでください。 ➡やむを得ない場合は2台以内にとどめる。 ●ISDN／ADSL機器、携帯電話の充電器などから親機や子機を3m以上離してください。 ●同じ部屋の中でも電波の弱くなるところがあり、その位置で通話すると声がとぎれて聞きとりにくくなります。この場合は少し移動すると改善します。 ●建物の構造や壁の材質によって電波を通しにくい場合があり、症状の原因になります。 ➡特に金属の構造物、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラスなどは電波を通しません。
	保留転送／子機間転送ができない	●子機を使用中に親機から離れすぎると音声がまったく聞こえなくなったり、警告音が鳴ります。このとき液晶画面に「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」が表示されると、現在の通話が終わるまで、保留転送／子機間転送などの機能を利用することができません。（故障ではありません。）
	増設子機がまったく使えない	●登録操作に失敗していると、ご使用になれません。増設のリセットを行ない、もう一度、増設子機の登録操作を行なうとご使用になれます。（71ページ）

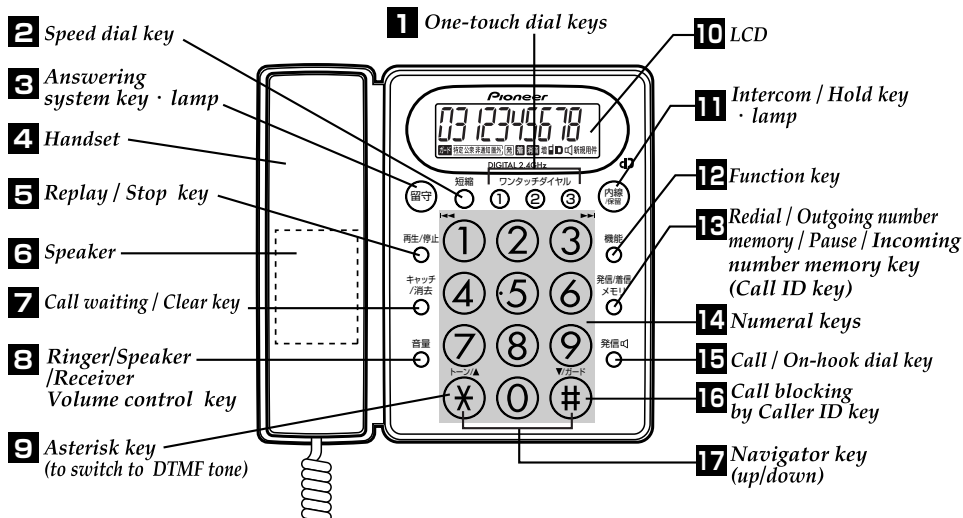
症　状		原因と処置
留守番機能	留守ランプの点滅が消えない	●まだ聞いていない録音内容をすべて聞くと点滅が消えます。
	留守セットができない	●「設定できません。録音がいっぱい・・・」と聞こえるときは、録音内容をすべて聞いたあと消去してください。（46・47ページ）
	スピーカーから聞こえる録音中の相手の声（モニター音）が小さいか聞こえない	●消音を解除してください。(23ページ) 小さい場合はスピーカー音量を大きくしてください。(24ページ) ●ナンバー・ディスプレイをご利用している場合で、ガード機能を設定している場合、ガード機能動作中はスピーカーから音声は聞こえません。
	録音内容を再生すると音声が小さい	●スピーカー音量を大きくしてください。(24ページ)
	「ツー・・」という音しか録音されていない	●録音のはじめで相手が電話を切ったとき「ツー・・」という音が録音されることがあります。
	応答メッセージを録音できない	●親機からはできません。子機で録音してください。（48ページ）
	応答メッセージが変わった	●録音がいっぱいになると自動的に応答専用メッセージに変わりますので、まめに再生し、消去してください。（46・47ページ）
	応答メッセージが流れない	●無音に近い自作応答メッセージが録音された場合は、応答メッセージを消去してください。（48ページ） ➡消去すると、電話機内蔵の応答メッセージで留守応答します。 ●同じ回線に接続した他の機器が先に電話を受けてしまう場合、本機は留守応答できませんので、本機が先につながるようにしてください。 ➡本機の留守応答の呼出回数を2回にすると先につながる場合があります。（85ページ）
	留守番にしていないのに応答する	●暗証番号を登録すると、呼出音の約15回目に自動的に留守応答します。暗証番号を消去するとこの動作は行ないません。(49ページ) ●各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号）を設定しているときは、各種ガードのメッセージで応答し電話が切れます。設定されているガード内容を確認し、不要なものを解除してください。
	留守番につながる呼出音の回数が変わってしまう	●トールセーバのはたらきによるものです。（49ページ） ➡回数を固定にしたいときは（85ページ）
	リモコン再生ができない	●あらかじめ暗証番号（49ページ）を登録してください。 ●暗証番号や操作するボタンを押し間違えていませんか。周囲に音楽などの流れていない状況で、「＃〇〇〇」やダイヤルボタンをゆっくり、長めに押してください。それでも再生されない場合は、短めに押してください。 ●携帯電話など信号音の出る時間が「ピポパ」と短い電話機は信号が伝わりにくい場合がありますので、公衆電話など「ピーポーパー」と長めに出る電話機からかけ直してください。 ●プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機から操作しているか確かめてください。

	症　状	原因と処置
ナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた方の電話番号などが表示されない	●NTTへナンバー・ディスプレイのお申し込みが必要です。くわしくはNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「ON」にしてください。 ●同じ回線に接続した併用の機器（ナンバー・ディスプレイ表示器、他の電話機やファクシミリ、ホームテレホンなど）は外していただくか、回線を別にしてください。 ●同じ回線に他の機器（ISDNのTA／ルーター、ADSLのモデム／スプリッタ、セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、CAT（キャットというカード読取機）など）が接続されている場合、それらの機器が原因で、ナンバー・ディスプレイの表示が出ない場合や電話がつながらない場合があります。くわしくは原因と思われる機器のメーカー、または関連のサービス会社などにご相談ください。 ➡ISDN回線でご使用のTAが旧バージョンの場合に、ファームウエアを最新バージョンに変更すると改善する場合があります。 ➡TAがナンバー・ディスプレイ対応機種でなければ表示できません。くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。 ➡TA側の設定（電話機を接続するアナログポートでナンバー・ディスプレイを使用する）が必要です。設定方法はTAに付属の取扱説明書をご覧ください。 ➡ADSL回線の場合は、スプリッタやモデムなどを外し、電話機を回線に直接つないだ状態でナンバー・ディスプレイが表示される場合、スプリッタやモデムなどの原因と考えられます。 ●構内交換機（PBX）の内線に接続の場合、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。 ●マンションにお住まいの場合、マンション独自の電話設備の関係でナンバー・ディスプレイの表示が出ない場合があります。マンションの管理会社などにお問い合わせください。
	電話帳に登録している相手の名前が正しく表示されない	●同一の電話番号を複数の名前で、電話帳に登録しないでください。市内局番以降が同じ電話番号が複数ある場合、正しく表示されません。
	キャッチホンの電話番号が表示されない	●NTTへのサービスのご契約は「ナンバー・ディスプレイ」・「キャッチホン・ディスプレイ」・「キャッチホン」の三つが必要です。本機にはキャッチホン・ディスプレイの設定がありますので「ON（キャッチDアリ）」に設定してください。(57ページ)
	携帯電話からは表示されるが一般電話からは「ヒョウジケンガイ」（表示圏外）になる	●INSナンバー・ディスプレイに申込が必要です。NTT窓口(お客様サービス116番)にお問い合わせください。 ●通話中の子機が、一度親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所に移動したあと（Y圏外 表示）、Y圏外が消灯する場所まで移動した場合は、通話に戻ることはできますが、表示はされません。（故障ではありません。）
	相手先に非通知と表示されてしまう	●お客様の回線が通常非通知（回線ごと非通知）の場合は、電話番号の前に186を付けてダイヤルしてください。その通話に限り電話番号を通知します。 ➡通常通知に変更の場合は、NTT窓口(お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●ＩＰ電話をご利用の場合には、相手もＩＰ電話のときや、相手が携帯電話・PHSのときは、相手に非通知と表示される場合があります。くわしくはＩＰ電話の提供元（プロバイダーなど）にお問い合わせください。 ●ISDN回線をご利用のときは、TAの設定を「通知」に変更してください。くわしくは、TAのメーカーへお問い合わせください。
	各種のガードがはたらかない	●キャッチホン・ディスプレイにご契約の場合であっても、キャッチホンでかかってきたときは、各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号）がはたらきません。

	症　状		原因と処置
ドアホンに接続したとき	呼出や話ができない ・回線にファクシミリなど他の機器を接続したらドアホンが使えなくなった。 ・ISDNを利用したらドアホンが使えなくなった。 ・ADSLのＩＰ電話を利用したらドアホンが使えなくなった。	▶	●ドアホンターミナルボックスのTF-TB2と電話機の間には、ファクシミリ／TA／ルーターなどの機器を接続しないでください。接続の順番は下記のイメージ図を参照してください。 (接続イメージ図)
	ドアホンのところではピンポンと聞こえても、電話機は鳴らず、話もできない	▶	●電話機とドアホンターミナルボックスを接続する電話機コードが2芯コードではありませんか。6芯コード（ドアホンターミナルボックスに付属の太い電話機コード）で接続してください。
	ドアホンターミナルボックスのTF-TB1をTF-TB2に替えたらドアホン通話ができない	▶	●TF-TB2と電話機を接続する6芯コード（太い電話機コード）は、TF-TB2に付属のもの（白：プラグ反転型）を必ずご使用ください。TF-TB1に付属のもの（黒：プラグ非反転型）はご使用になれません。
	ドアホンの人への聞こえが小さい	▶	●ドアホンターミナルボックスの裏面にある受話音量の調節スイッチを小⇒大に切りかえてください。
	電話機への聞こえが小さい	▶	●ドアホンターミナルボックスの裏面にある送話音量の調節スイッチを小⇒大に切りかえてください。
	ドアホンの呼出音が鳴っているのにドアホンに応答することができない	▶	●他の子機または親機が外線通話中の場合、ドアホンにでることはできません。（液晶画面に「LINE IN USE」（親機）や「カイセン　シヨウチュウ」（子機）が表示されています。）また、外線通話中の子機または親機も、外線通話を保留して、ドアホンに応答することはできません。外線通話を終わらせると、ドアホンと通話することができます。
	ドアホンの応答を終了してもドアホン側の呼出音が鳴る	▶	●ドアホンの呼出音が鳴っているときに応答し、すぐに受話器を戻すとドアホン側の呼出音が鳴ることがあります。

	症　状		原因と処置
その他	ACアダプターが少し熱を持つ	▶	●ACアダプターは多少の熱を発します。夏場の室温上昇で触って熱いと感じられる場合もありますが、もし異常に熱い場合には、コンセントから外し、弊社お客様相談室（89ページ）へお問い合わせください。
	キャッチホンが切りかわらない	▶	●中継機器（TA、モデム、ホームテレホン、構内交換機（PBX））などの原因で、キャッチホンの切替ができない場合があります。中継機器の説明書にて必要な設定などをご確認ください。くわしくは中継機器のメーカー、または設置業者へお問い合わせください。

Quick Reference Guide

Parts Descriptions (TF-VD1100/VD1130/VD1140 Base Unit)

Basic Operations (TF-VD1100/VD1130/VD1140 Base Unit)

■ To make a call

Lift the handset. ➡ Dial...

■ To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the handset.

■ To adjust the ringer volume

With the handset placed on the base unit, every pressing 音量 (8) to change the volume to the next level as shown below. ▶ Press 機能 (12) to set.

■ To make a call using on-hook dial

Press 発信 (15). ➡ Dial. ➡ Hear the telephone-service announce.

▶ To end the call, press 発信 .

Lift the handset when the other party answers. ➡ Talk...

➡ Place the handset on the base unit.

■ To place the current call on hold

Press 保留 (11) during a call. (You can place the handset on the base unit.)

■ To retrieve the held call

If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.
If you have not returned the handset on the base unit, press 保留 (11) again.

■ To transfer the held call to the personal phone

Press 保 留 (11) during a call. ➡ Press 1 ~ 4 (14) (the extension number you want to transer to). ➡ Place the handset on the base unit when the other party answers.

■ To use TAM(Telephone Answering Machine)

When you leave home, press 留 守 (3) to turn the Answer lamp on.

(To deactivate, press 留 守 again to turn the Answer lamp off.)

➡ When receiving a call while TAM is active, it answers the call automatically in Japanese , and records the incoming messages.

Then, the 留 守 lamp starts blinking. ➡ When you return home, press 留 守 to play back the messages.

The 留 守 lamp turns off and the answering mode is deactivated.

To playback the message while TAM is deactiveated , press 再生/停止 (5).

During playing back the messages, press 消 去 (7) to erase the message.

To erase all the messages, press 消 去 for 2 seconds or more.

※Up to 59 messages can be recorded for approximate, 10 minutes in total.

■ To record OGM (outgoing message)

※Personal Phone's Operations.

■ To setting the telephone line manually

※Personal Phone's Operations.

Quick Reference Guide

■ Parts Descriptions (TF-VD1100/VD1130/VD1140 Personal Phone)

1 *Earpiece*

2 *Numeral/Character keys*

3 *Asterisk key (to switch to DTMF tone)*

4 *Hands-free key*

5 *LCD (with back light)*

6 *Navigator key (up/down, left/right)*

7 *Directory/Enter key*

8 *Call blocking by Caller ID key*

9 *Intercom / Hold / Character input mode key · lamp*

10 *Microphone*

18 *Speaker*

19 *Battery cover*

11 *Call waiting / Clear key* — キャッチ 消去

12 *Incoming number memory key (Call ID key)* — 着信メモリ

13 *Call key*

14 *Function /Backward key* — 機能 戻る

15 *Redial / Outgoing number memory /Pause key* — 発信メモリ

16 *End key* — 切

電話帳/決定

Basic Operations (TF-VD1100/VD1130/VD1140 Personal Phone)

■ To make a call

Lift the personal phone from the cradle or press [☎] (13). ➡ Dial・・・

To end the call, place the personal phone on the cradle or press [切] (16).

■ To receive a call

When the phone rings...➡ Lift the personal phone from the cradle or press [☎] (13).

➡ Talk...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press [切] (16).

■ To adjust the ringer volume

After pressing the [切] (16), press [機能] (14). ➡Press [決定] (7).

➡Press [down] (6) once to select... "ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝﾘｮｳ"on the LCD (5).➡ Press [決定].

➡Press [up/down] to select the volume level(Silent、Vol.1～Vol.4). ➡Press [決定].

➡Press [切].

機能の設定を変える

■ To make a call using the Hands-free talk

Press ハンズフリー (4). ➡Dial . ➡Talk to the microphone...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 (16).

■ To receive a call with the Hands-free talk

When the phone rings...Press ハンズフリー (4). ➡ Talk to the microphone...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 (16).

■ To place the current call on hold

Press 保 留 (9) during a call.

■ To retrieve the held call

Press ☎ (13) or 保 留 (9) .

■ To transfer the held call to the base unit

Press 保 留 (9) during a call . ➡Press 0 (the base unit number) .

➡Place the personal phone on the cradle or press 切 (16) when the other party answers .

■ To transfer the held call to another personal phone

Press 保 留 (9) during a call . ➡Press 1 ～ 4 (the extension number you want to transfer to).

➡Place the personal phone on the cradle or press 切 (16) when the other party answers.

■ To record OGM (outgoing message)

After pressing the 切 (16) , Press 機 能 (14).

➡Press down (6) two times to select…"ルスデンソウサ" on the LCD(5)

➡Press 決 定 (7). ➡Press down once to select... " オウトウメッセージ" on the LCD.

➡Press 決 定 . ➡Press down once to select... " ロクオン" on the LCD.

➡Press 決 定 two times to start recording.

➡Speak to microphone(10) (up to 30sec) . ➡ Press 決 定 . ➡Press 切 .

■ To setting the telephone line manually

After pressing the 切 (16) , Press 機 能 (14). ➡

➡Press up (6)three times to select... "デンワカイセン" on the LCD. ➡Press 決 定 (7).

➡Press 決 定 .

➡Press up/down to select the appropriate line type from the list shown below.

➡Press 決 定 . ➡Press 切 .

Line type

プッシュ＝ tone dial line
10PPS = pulse dial line : 10pps
20PPS = pulse dial line : 20pps

NOTICE
For Japanese standard only. This set operates on AC100V. Due to different standards of telephone line and different power requirements , this set cannot be used outside of Japan.

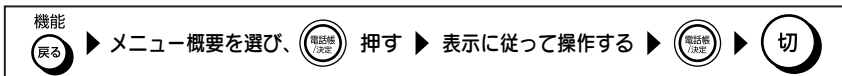
機能設定を変える（一覧表）

使い方に合わせて下記の機能を登録・変更できます。お買い上げ時は、　　　のついている内容に設定されています。

（親機）　機能 ○ ▶ メニュー番号を押す ▶ 表示に従って操作する ▶ 機能 ○

カテゴリー	機　能	メニュー番号	変更・登録できる内容	参照ページ
音	呼出音質	①	親機の呼出音を選ぶ ベル1＜低音＞／**ベル1＜標準＞**／ベル1＜高音＞／効果音1＜ピロロ＞／森のくまさん／ラデツキー行進曲	P.27
ナンバーID	鳴り分け	②	ナンバー・ディスプレイご利用時、相手によって呼出音を変える ●短縮ダイヤルに登録した相手に設定できる	P.59
その他の設定	キータッチ音の設定	③	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ **ON**(あり)／OFF(なし)	−
	子機増設	④	別売の子機を親機に登録したり、登録を解除したりする	P.71
	初期化	⑤	親機を廃棄・譲渡・返却するときなどに、親機のメモリに記憶した情報をすべて消去する	P.10
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル	短縮 ○	親機の短縮ダイヤルによくかける相手の電話番号を登録する	P.51

使い方に合わせて下記の機能を登録・変更できます。お買い上げ時は、　　　のついている内容に設定されています。

（子機）　機能 戻る ▶ メニュー概要を選び、 押す ▶ 表示に従って操作する ▶ ▶

※電話帳を操作するときは、電話帳の内容を表示させてから行なってください。

カテゴリー	メニュー概要	機能メニュー	変更・登録できる内容	参照ページ
音	音質・音量	呼出音質	子機の呼出音を選ぶ ベル1＜低音＞／**ベル1＜標準＞**／ベル1＜高音＞／効果音1＜ピロロ＞／効果音2／春〜四季より〜／森のくまさん／華麗なる大円舞曲／ラデツキー行進曲／花のワルツ	P.27
		呼出音量	子機の呼出音量を選ぶ 消音／音量1／音量2／**音量3**／音量4	P.23
		夜間音量	子機の夜間呼出音量を選ぶ 消音／音量1／音量2／音量3／音量4／**夜間設定なし**	P.25
		夜間時間設定	夜間呼出音量で鳴らす時間帯を登録する	P.25
		キータッチ音	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ **ON**(あり)／OFF(なし)	−
留守番機能	留守電操作	留守番設定	子機で留守番を設定するかしないかを選ぶ ON(設定)／**OFF**(解除)	P.45
		応答メッセージ(録音)	自分の声で応答メッセージを録音する (手順：機能メニューを選んだあと "ロクオン" を選び、電話帳/決定 を押す)	P.48

使い方に合わせて下記の機能を登録・変更できます。お買い上げ時は、　　　　のついている内容に設定されています。

(子機)

▶ メニュー概要を選び、 押す ▶ 表示に従って操作する ▶ ▶

※電話帳を操作するときは、電話帳の内容を表示させてから行なってください。

カテゴリー	メニュー概要	機能メニュー	変更・登録できる内容	参照ページ
留守番機能	留守電操作	応答メッセージ(消去)	自分の声で録音した応答メッセージを消去する (固定応答メッセージに戻る) (手順：機能メニューを選んだあと"ショウキョ"を選び、(電話帳/決定)を押す)	P.48
		呼出回数	留守時に応答メッセージを流すまでの、呼出音の回数を選ぶ トールセーバ／2／5／8／11	P.49
		暗証番号	外出先から留守番電話を操作するための暗証番号を登録する	P.49
	用件再生	用件再生	子機で用件を聞く	P.46
電話帳	電話帳コピー	送信(一件)／送信(すべて)	子機の電話帳の内容を他の子機にコピーする	P.56
		消去(すべて)	子機の電話帳の内容をすべて消去する (手順：機能メニューを選び、(電話帳/決定)を押す)	P.55
ナンバー・ディスプレイ	ナンバーD	ナンバーD設定	ナンバー・ディスプレイご利用時、「ON」を選び、利用をやめるときは「OFF」を選ぶ ON／ON(キャッチDアリ)／OFF	P.57
		ナンバーD設定	キャッチホン・ディスプレイご利用時、「ON(キャッチDアリ)」を選び、利用をやめるときは「ON」または「OFF」を選ぶ ON／ON(キャッチDアリ)／OFF	P.57
		鳴り分け	ナンバー・ディスプレイご利用時、相手によって呼出音を変える ●電話帳に登録した相手ごとに設定できる (電話帳の内容を表示させてから操作する)	P.59
		非通知ガード 設定	ナンバー・ディスプレイご利用時、非通知の電話を受けるか、受けないかを選ぶ ON／OFF	P.61
		非通知ガード 応答方法	ナンバー・ディスプレイご利用時、非通知の電話の応答方法を選ぶ メッセージ1／メッセージ2／ルスロクオン	P.63
		公衆ガード 設定	ナンバー・ディスプレイご利用時、公衆電話を受けるか、受けないかを選ぶ ON／OFF	P.61
		公衆ガード 応答方法	ナンバー・ディスプレイご利用時、公衆電話の応答方法を選ぶ メッセージ1／メッセージ2／ルスロクオン	P.63
		圏外ガード 設定	ナンバー・ディスプレイご利用時、表示圏外からの電話を受けるか、受けないかを選ぶ ON／OFF	P.61
		圏外ガード 応答方法	ナンバー・ディスプレイご利用時、表示圏外からの電話の応答方法を選ぶ メッセージ1／メッセージ2／ルスロクオン	P.63

機能設定を変える（一覧表）（つづき）

使い方に合わせて下記の機能を登録・変更できます。お買い上げ時は、[ ]のついている内容に設定されています。

（子機） ▶ メニュー概要を選び、 押す ▶ 表示に従って操作する ▶ ▶

※電話帳を操作するときは、電話帳の内容を表示させてから行なってください。

カテゴリー	メニュー概要	機能メニュー		変更・登録できる内容	参照ページ
ナンバー・ディスプレイ	ナンバーD	特定ガード	設定	ナンバー・ディスプレイご利用時、特定の相手の電話を受けないようにする (手順：機能メニューを選んだあと“トウロク”を選び、電話帳/決定 ▶ 電話番号を入力 ▶ 電話帳/決定 を押す)	P.62
			応答方法	ナンバー・ディスプレイご利用時、特定の相手の電話の応答方法を選ぶ [メッセージ1]／メッセージ2／ルスロクオン	P.63
その他の設定	子機増設	子機増設		別売の子機を親機に登録する	P.71
	名称登録	名称登録		子機に名前をつける	P.19
	液晶コントラスト	液晶コントラスト		液晶画面のコントラストを調整する	－
	子機日時	日付・時刻登録		子機の現在の日付・時刻を登録する	P.19
	親機日時	日付・時刻登録		親機の現在の日付・時刻を登録する	P.17
	電話回線	回線種別		電話回線の種別を選ぶ プッシュ／10PPS／20PPS／自動選択	P.20
		スプリッタ・TA		ADSLやISDN回線に接続するとき「ON」を選び、接続をやめるとき「OFF」を選ぶ ON／[OFF]	P.35
		携帯通話		携帯電話に電話をかけるとき、事業者識別番号(00XX)を自動的につける [ON 0033]／ソノタジギョウシャ／OFF	P.29
	クイック通話	クイック通話		充電器から子機をとるだけで、電話をかけたり受けたりするようにするとき「ON」を選び、を押してからかけたり受けたりするようにするとき「OFF」を選ぶ [ON]／OFF	－
	初期化	初期化		子機を廃棄・譲渡・返却するときなどに、子機のメモリに記憶した情報をすべて消去する	P.10

子機のメニュー概要

機能 戻る 押す

機能メニュー概要の表示順

機能メニュー概要の表示順

保証書とアフターサービスについて

保証書（本書の裏表紙）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

本機の保証は持込修理となっています。**出張修理や引取修理をご希望の場合は保証期間内でも出張料金や配送料金が別途必要となります。**あらかじめご了承願います。
保証期間中および保証期間後を問わず何らかの原因により各種の登録、設定、録音内容が損なわれた場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。
あらかじめご了承願います。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書に記載の当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期限

本機の補修用性能部品は製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談、ご質問

お買い求めの販売店へご依頼ください。
ご転居されたり、ご贈答品などで販売店へ修理の依頼ができない場合は、修理受付センター（89ページ）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（72～79ページ）を参考に調べていただき、なお異常があるときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてから、販売店または修理窓口に修理をご依頼ください。
電話をかけたり受けたりできないとき、ACアダプターを抜くと、親機で応急的に使える場合があります。
お持込みになる場合や引取修理の場合は、必ず親機・子機・充電器・ACアダプターを一緒にして修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは、次の事項を確認してください。

1 品名、機種（システム名）
（例：コードレス留守番電話機　TF-VD1100・VD1130・VD1140）
2 故障の内容
（どのような症状か・どんなときに症状がでるか・いつもでるか・時々なのか）
3 お買い上げ年月日（○年○月○日）
4 お名前、住所、連絡先電話番号

持込修理について

本機の保証は「持込修理」扱いです

お買い求めの販売店にお持込みください。
弊社へご依頼のときは、お近くの修理窓口（サービス拠点）へ直接お持込みください。
（90～91ページ参照）

引取修理について

配送料金（保証適用外）が別途かかります。
当社指定の宅配業者が修理品の回収、お届けを行ないます。修理期間の代替機の用意はできません。

出張修理について

サービスステーションからの距離に応じて出張料金（保証適用外）が別途かかります。
当社のサービスマンが訪問して修理いたします。

長年ご使用の電話機の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか

- ACアダプターやコードが異常に熱くなる。
- ACアダプターにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、煙、臭いがする。

すぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜き、故障や事故防止のため販売店または修理窓口に点検（有料）をご依頼ください。

お客様相談窓口・修理窓口

修理、取り付け、他の製品との接続などに関してはお買い求めの販売店へお問い合わせください。
お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合はパイオニア修理受付センターへお問い合わせください。

操作・取扱のお問い合わせや、故障か判断に迷われたときは

【お客様相談室】

受付　月曜～土曜、日曜・祝日　9：30～17：30（弊社休業日は除く）

東日本地区　お客様相談室（埼玉県所沢市）　☎ 04ー2949ー5131
西日本地区　お客様相談室（大阪市）　☎ 06ー6533ー0099
専用FAX：04ー2949ー5501

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話では、ご使用になれません。また、一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめ、ご了承ください。

修理（出張修理、引取修理）のご依頼、お問い合わせは

※沖縄県の方は、沖縄サービスステーションでお受けします。（91ページ）

【パイオニア修理受付センター】

ご希望により出張修理、引取修理も承ります。
保証期間内でも出張料金、配送料金はお客様のご負担となります。

受付　月曜～金曜　9：30～19：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

TEL： 0120ー5ー81028（ゴーパイオニア）　／　FAX： 0120ー5ー81029
一般電話：03ー5496ー2023

部品（付属品、取扱説明書など）のご購入については

【パイオニア部品受注センター】

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

TEL： 0120ー5ー81095　／　FAX： 0120ー5ー81096
一般電話：0538ー43ー1161

Pioneer

保証書

持込修理

品　名	コードレス留守番電話機	機　　種	TF-VD1100 TF-VD1130 TF-VD1140
保証対象	本　　　　体	保証期間	（お買い上げ日より）**1年間**
※お買い上げ日	年　　月　　日		
※お客様 お名前　　　　様	ご住所 電話番号　　（　　）		
※販売店	店名・住所・電話番号		

※印欄は必ずご記入ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または修理窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご持参ください。その際には本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合や、お近くの修理窓口がない場合は、修理受付センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、**落雷**その他の天災地変、公害、塩害、虫害、**異常電圧**などによる事故および損傷
   （ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等）
   （ホ）消耗品（各部ゴム、電池、テープ等）の交換
   （ヘ）増設子機の登録操作を行なう場合
   （ト）本書の提示がない場合
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   （リ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
   （ヌ）出張修理をご希望されたときの出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

（修理メモ）

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。

パイオニアコミュニケーションズ株式会社
〒359−1167　埼玉県所沢市林2−70−1

　Printed in China　FRA1379-B